

○杏林大学大学院学則

制定	昭和51年	4月	1日			
改正	昭和54年	4月	1日	昭和57年	4月	1日
	昭和59年	4月	1日	昭和61年	3月	18日
	平成3年	1月	30日	平成4年	10月	26日
	平成6年	1月	24日	平成7年	3月	16日
	平成7年	3月	27日	平成7年	9月	28日
	平成8年	10月	23日	平成10年	3月	27日
	平成11年	2月	15日	平成11年	6月	21日
	平成11年	9月	20日	平成12年	9月	18日
	平成13年	3月	29日	平成13年	6月	28日
	平成14年	2月	26日	平成14年	3月	29日
	平成14年	4月	25日	平成15年	2月	17日
	平成15年	10月	20日	平成16年	3月	26日
	平成16年	12月	8日	平成17年	10月	26日
	平成18年	3月	29日	平成18年	12月	8日
	平成19年	3月	29日	平成19年	9月	10日
	平成20年	3月	28日	平成21年	10月	26日
	平成21年	12月	3日	平成22年	12月	3日
	平成23年	5月	27日	平成23年	12月	2日
	平成24年	3月	30日	平成24年	12月	7日
	平成25年	5月	24日	平成25年	7月	22日
	平成26年	2月	17日	平成27年	3月	27日
	平成28年	3月	25日	平成29年	3月	24日

第1章 総則

（趣旨）

第1条 この学則は、杏林大学学則（以下「本学学則」という。）第4条の規定に基づき、杏林大学大学院（以下「大学院」という。）に関し必要な事項を定める。

（目的）

第2条 大学院は、大学建学の精神に則り、専攻分野に関する専門的な学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめて、優れた研究者及び高度専門職業人を養成することにより、文化の進展に寄与することを目的とする。

（自己評価等）

第2条の2 大学院は、その教育水準の向上を図り前条の目的及び使命を達成するため、大学院における教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行うものとする。

2 前項の点検及び評価の項目並びにその実施体制については別に定める。

（研究科）

第3条 大学院に医学研究科、保健学研究科及び国際協力研究科を設け、医学研究科、保健学研究科及び国際協力研究科にそれぞれ博士課程を置く。

2 医学研究科博士課程の標準修業年限は4年とする。

3 保健学研究科及び国際協力研究科の標準修業年限は5年とし、これを博士前期課程（2年）及び博士後期課程（3年）に区分し、前者を修士課程として取扱うものとする。（以下「前期課程」という。）

4 前項の規定にかかわらず、前期課程においては、主として実務の経験を有する者

第3類（杏林大学大学院学則）

に対して教育を行う場合であって、教育研究上の必要があり、かつ、昼間と併せて夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適切な方法により教育上支障を生じないときは、研究科、専攻又は学生の履修上の区分に応じ、標準修業年限を1年以上2年未満の期間とすることができる。

- 5 博士後期課程及び医学研究科博士課程は、専攻分野について研究者として自立して研究活動を行い、又は、その他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。
- 6 前期課程は、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を養うことを目的とする。

（専攻）

第4条 医学研究科、保健学研究科及び国際協力研究科にそれぞれ次の専攻を置く。

医学研究科

生理系専攻

病理系専攻

社会医学系専攻

内科系専攻

外科系専攻

保健学研究科

保健学専攻

看護学専攻

国際協力研究科

国際開発専攻

国際文化交流専攻

国際医療協力専攻

国際言語コミュニケーション専攻

開発問題専攻

（研究科又は専攻の目的）

第4条の2 研究科又は専攻ごとの人材の養成その他の教育研究上の目的については、次のとおりとする。

- 2 医学研究科は、科学的な問題解決能力を備える臨床医、旺盛な創造性を持つ基礎医学・生命科学の研究者、社会医学に貢献する有為な人材等豊かな人間性と倫理観・使命感にあふれる医療人の養成を目的とする。
- 3 保健学研究科は、保健、医療、看護及び福祉の専門分野において、広い視野と豊かな学識を有し、専門性の高い業務を遂行する人材、並びに研究能力を有する人材を養成することを目的とする。
- 4 国際協力研究科

国際協力研究科は、国際社会において発生する様々な課題を、法律、政治、経済、経営、文化交流、言語、医療、保健衛生など多くの側面から学際的に把握し、理論的かつ実証的に問題を分析して的確に処理できるような人材を育成し、国際社会に対する支援・協力を推進することを目的とする。

（1）国際開発専攻は、世界諸地域の経済社会の発展に資するための開発及び国際協

第3類（杏林大学大学院学則）

力のあるべき方法・施策を社会科学諸分野にわたり、理論的・実証的に究明するとともに、わが国の政治・経済・経営及び法律税務の各専門領域について考究し、これらを通じて必要な専門知識の修得はもとより関連分野にも通曉し、実務にも対応できる人材の養成を目的とする。

- (2) 国際文化交流専攻は、国際的な視座に基づき日本を中心とする世界諸地域の言語と文化の特質を学術的に研究し、この成果を実践的諸形態に還元するための具体的な方法を考究すると共に、この分野での先導的な高度専門職業人に必要な諸技能を身につけた、我が国の国際協力推進に寄与する人材の養成を目的とする。
- (3) 国際医療協力専攻は、世界諸地域に対する保健医療分野の国際協力に必要な幅広い知識と高度な理論を身に付け、国際社会での実践活動に貢献すると共に、問題解決に向け自立して研究課題を設定し、研究活動の実践によりその成果を活かすことのできる人材の養成を目的とする。
- (4) 国際言語コミュニケーション専攻は、国際社会にあつて特に強い要請のある英語及び中国語を対象言語とし、通訳や翻訳をはじめとする言語コミュニケーションの専門分野に熟達して、理論と実践、幅広い知見と深い洞察をもとにこの分野の先導的な役割を担うことのできる高度専門職業人の養成を目的とする。
- (5) 開発問題専攻は、国際協力の実践場面で、あるいはその研究分野で、各専門領域の知識と技能を修めた高度な専門家として活躍できる、有用な人材の養成を目的とする。

（研究指導及び授業）

第5条 研究科における研究の指導及び授業は、原則として本学の教授が担当する。ただし、必要があるときは教授以外の者に分担させることができる。

（研究科長）

第6条 各研究科に研究科長を置く。

- 2 研究科長は教授の兼務とし、学長の推薦に基づき、学園の理事会の議を経て、学園の理事長が任命し、その任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。
- 3 研究科長は、その研究科に関する事項を掌理する。

（教務担当）

第6条の2 研究科又は専攻ごとに教務担当を置く。

- 2 教務担当は教授の兼務とし、研究科長の推薦に基づき、学園の運営審議会の議を経て、学長が任命し、その任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。
- 3 教務担当は、所属する研究科又は専攻の教務に関する事項を掌る。

第2章 運営組織

（大学院委員会及び研究科委員会）

第7条 大学院及び研究科を管理運営するために、大学院委員会及び研究科委員会を置く。

（大学院委員会の組織）

第8条 大学院委員会は学長、副学長、各研究科委員長及び各研究科委員から選ばれた若干名の委員をもって組織する。

- 2 大学院委員会の委員長は学長とする。

（大学院委員会の職務）

第3類（杏林大学大学院学則）

第9条 大学院委員会は次の事項を審議する。

- (1) 大学院の運営に関する事項
- (2) 大学院の組織に関する事項
- (3) その他大学院に関する重要事項
(研究科委員会の組織)

第10条 各研究科に研究科委員会を置く。

- 2 各研究科委員会は大学院各研究科の教授をもって組織する。ただし、必要ある場合は関係の准教授・講師を加えることができる。
- 3 研究科委員会の委員長は研究科長とする。
(研究科委員会の職務)

第11条 研究科委員会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

- (1) 学生の入学、卒業及び課程の修了
- (2) 学位の授与
- (3) 第1号及び第2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、研究科委員会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの
- 2 研究科委員会は、前項に規定するもののほか、学長及び研究科長（以下この項において「学長等」という。）がつかさどる次の事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。
 - (1) 教育及び研究に関する事項
 - (2) 教員人事に関する事項
 - (3) 学生に関する事項
 - (4) 学長等の諮問に関する事項
- 3 学園長、学長、副学長は各研究科委員会に出席し意見を述べるができる。

第12条 大学院委員会及び各研究科委員会に関する細則は別に定める。

第3章 在学年限及び学生定員

(在学年限)

第13条 同一研究科に在学し得る最長年限は、前期課程においては4年、博士後期課程においては6年、医学研究科においては8年とする。

(学生定員)

第14条 研究科専攻別学生定員は、次のとおりとする。

研究科名	専攻	博士課程		博士前期課程		博士後期課程		備考
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	
医学研究科	生理系	—	16					
	病理系	—	12					
	社会医学系	—	12					
	内科系	—	48					
	外科系	—	48					

第3類（杏林大学大学院学則）

	計	—	136				
保健学 研究科	保健学			7	14	4	12
	看護学			7	14	2	6
	計			14	28	6	18
国際協力 研究科	国際開発			10	20		
	国際文化交流			10	20		
	国際医療協力			6	12		
	国際言語コミュニケーション			14	28		
	開発問題					10	30
	計			40	80	10	30

第4章 学年、学期及び休業日

（学年）

第15条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。ただし、秋学期入学者は9月15日に始まり、翌年9月14日に終わる。

（学期）

第16条 学年を分けて前期又は春学期、後期又は秋学期の2学期とする。

2 前項の学期の呼称及び期間は、各研究科において定める。

（休業日）

第17条 休業日は次のとおりとする。ただし、第4号から第6号の休業期間の始期及び終期は、年度ごとに学長が定める。

- (1) 日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律に定めた祝日
- (3) 杏林学園創立記念日 11月11日
- (4) 春季休業
- (5) 夏季休業
- (6) 冬季休業

2 学長は、必要により臨時に休業日を設け、又は休業日を授業日に変更することができる。

第5章 授業科目、単位及び履修方法

（授業科目）

第18条 研究科における授業科目及び単位については、別表1-1、1-2、1-3、1-4、2-1、2-2、2-3、2-4、3-1、3-2、3-3及び3-4のとおりとする。

（指導教授）

第19条 入学を許可された者には、専攻課程に従って、それぞれ指導教授を定める。

2 指導教授は、必要に応じて2人以上とすることができる。

第20条 学生は指導教授の指示を受け、指定された期日までに履修計画を研究科長

第3類（杏林大学大学院学則）

に提出しなければならない。

第21条 研究科の授業科目は、主科目、及び副科目とする。

（履修の方法）

第22条 教育課程及び履修方法の細部については、各研究科において定める。

2 各研究科において教育研究上有益と認めるときは、別に定める規程により他大学の大学院又は研究所等と予め協議の上、当該他大学の大学院又は研究所等の授業科目を履修させることができる。

3 前項の規程により履修した授業科目の単位は10単位を超えない範囲で、本学において履修したものとみなすことができる。ただし、前期課程の学生について認める場合は、1年を超えないものとする。

（教育方法の特例）

第22条の2 各研究科において、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

（科目履修の認定）

第23条 学科目の履修の認定は、学期末又は学年末に試験又は研究報告によって行い、その方法は学科目担当教授が定める。

2 試験又は研究報告の成績は、S（90点以上～100点）、A（80点以上～90点未満）、B（70点以上～80点未満）、C（60点以上～70点未満）、D（60点未満）の5種とし、SABCを合格、Dを不合格とする。

（単位の認定）

第24条 合格した学科目については、所定の単位を与える。

2 授業科目の単位の計算方法は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

（1）講義及び演習については、毎週1時間から2時間15週の授業をもって1単位とする。

（2）実験、実習及び実技については、毎週2時間から3時間15週の授業をもって1単位とする。

（3）授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合の単位数を計算するに当たっては、その組み合わせに応じ、前各号に規定する基準を考慮して1単位とする。

（再試験・追試験）

第25条 不合格の学科目については、再試験を行うことがある。病気その他やむを得ない事由により、正規の試験を受けることができなかつた者については、追試験を行うことがある。

第6章 課程の修了要件

（前期課程の修了要件）

第26条 前期課程の修了要件は、当該課程に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、当該課程の目的に応じ、当該大学院の行う

第3類（杏林大学大学院学則）

修士論文又は特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては特に優れた研究業績を挙げた者については、当該課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

（博士課程の修了要件）

第26条の2 博士課程の修了要件は、次の各号のとおりとする。

- (1) 医学研究科博士課程の修了要件は、同課程に4年以上在学し、30単位以上を修得し、学位論文を提出してその審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、特に優れた研究業績を挙げた者については、同課程に3年以上在学すれば足りるものとする。
- (2) 保健学研究科及び国際協力研究科博士課程の修了要件は、同課程に5年（前期課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。）以上在学し、前期課程の修得30単位を含め50単位以上を修得し、学位論文を提出してその審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、特に優れた研究業績を挙げた者については、同課程に3年（前期課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。）以上在学すれば足りるものとする。
- 2 前条ただし書きの規定による在学期間をもって前期課程を修了した者の博士課程の修了の要件は、前期課程における在学期間に3年を加えた期間当該課程に在学し、各研究科の所定の単位を修得し、学位論文を提出してその審査及び最終試験に合格すること。ただし、特に優れた研究業績を挙げた者については、当該課程に3年（前期課程における在学期間を含む。）在学し、各研究科の所定の単位を修得し、学位論文を提出してその審査及び最終試験に合格すること。
- 3 第1項及び前項の規定にかかわらず、学校教育法施行規則第70条の2の規定により、大学院への入学資格に関し修士の学位を有する者と同等以上の学力があると本大学院が、認めた者が博士課程の後期課程に入学した場合の博士課程修了の要件は、同課程に3年以上在学し、学位論文を提出しその審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、特に優れた研究業績を挙げた者については、同課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

（学位論文及び最終試験の可否）

第27条 学位論文及び最終試験の合格、不合格は、当該研究科委員会の審査報告に基づいて学長が決定する。

- 2 審査の方法は各研究科において決定する。

（学位）

第27条の2 前条第1項により合格した者に次に定める学位を授与する。

修士

保健学研究科

保健学専攻 修士（保健学）

看護学専攻 修士（看護学）

国際協力研究科

国際開発専攻 修士（開発学）

国際文化交流専攻 修士（学術）

第3類（杏林大学大学院学則）

国際医療協力専攻 修士（国際医療協力）

国際言語コミュニケーション専攻 修士（言語コミュニケーション学）

博士

医学研究科 博士（医学）

保健学研究科 博士（保健学）

博士（看護学）

国際協力研究科 博士（学術）

（単位認定書の交付）

第28条 博士後期課程及び医学研究科博士課程において、在学期間中に所定の単位を修得したが、学位論文の提出に至らなかった者は、単位認定書の交付を受けることができる。

第7章 入学・休学・復学・退学及び転学

（入学の時期）

第29条 入学の時期は各学年の始めとする。

（入学の資格）

第30条 医学研究科に入学できる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- （1）大学における医学、歯学若しくは獣医学を履修する課程を卒業した者
 - （2）大学における修業年限6年の薬学を履修する課程を卒業した者
 - （3）文部科学大臣の指定した者
 - （4）外国において、学校教育における18年の課程を修了し、その最終の課程が医学、歯学、獣医学又は薬学の課程であった者
 - （5）医学、歯学、獣医学又は薬学を履修する課程に4年以上在学し、又は外国において学校教育における医学、歯学、獣医学又は薬学を含む16年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと大学院が認めた者
- 2 保健学研究科及び国際協力研究科に入学できる者は、次の各号の一に該当する者とする。
- （1）大学を卒業した者
 - （2）専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - （3）文部科学大臣の指定した者
 - （4）外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
 - （5）大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得した者と大学院が認めた者
 - （6）その他第1号に該当する者と同等以上の学力があると、大学院が認めた者で22歳に達したもの
- 3 保健学研究科及び国際協力研究科の博士後期課程に入学（本学前期課程からの進学及び他大学大学院からの入学）する資格のある者は、修士の学位を有する者、文部科学大臣の指定した者、又はそれと同等以上の学力があると、大学院が認めた者で24歳に達したものとする。

（入学出願）

第3類（杏林大学大学院学則）

第31条 入学を志願する者は、別に定める入学検定料を添えて、所定の入学願書を提出しなければならない。

（入学許可者の選考）

第32条 入学は、志願者の学力、人物、健康等について選考のうえこれを許可する。

（入学手続）

第33条 入学の許可を受けた者は、所定の期日までに所定の学納金を添えて誓約書を提出しなければならない。

（休学）

第34条 疾病その他やむを得ない事由のため、3月以上修学できないときは、学長に願い出て休学をすることができる。この場合、その事由が病気であるときは、医師の診断書を添付しなければならない。

2 休学の期間は1年を超えることはできない。ただし、特にやむを得ない事情があると認められるときは、さらに1年を限り延長することができる。

第35条 疾病のために修学することが適当でないと認められる者に対しては、学長は研究科委員会の議を経て、休学を命ずることができる。

（復学）

第36条 休学の期間中であっても、その事由が消滅したときは、学長に願い出て復学することができる。この場合、休学の事由が病気であるときは、本学付属病院の医師の診断書を添付しなければならない。

第37条 休学の期間は、第13条の修業年限に算入しない。

（退学）

第38条 疾病その他の事由により、退学しようとする者は、理由書を添え、保証人連署のうえ当該研究科長を経て学長に願い出て、許可を受けなければならない。この場合、退学の事由が疾病によるときは、医師の診断書を添付しなければならない。ただし、死亡の場合は、死亡診断書等の確認により、死亡した日をもって退学とする。

（再入学）

第39条 前条により退学した者で、退学の事由が消滅し、再び入学を願い出る者があるときは、当該研究科委員会の議を経て、これを許可することができる。

2 退学により再入学までの期間は本学学則第37条の規定に準ずる。

（転学）

第40条 他の大学院から本大学院に転入学を志願する者については、選考のうえこれを許可することができる。この場合、他の大学院において修得した単位及び在学年数は本大学院における単位及び在学年数として、これを換算することができる。

2 本大学院から他の大学院に転学を志願する者は、主科目担当教授を経て学長に願い出て、許可を受けなければならない。

（教職課程）

第40条の2 大学院に教職課程を置く。

（教育職員免許取得に必要な科目及び単位数）

第40条の3 教育職員免許を得ようとする者は、別に定める大学院教職課程履修規程及び教育職員免許法並びに同法施行規則の定めるところに従い、それぞれ所定の

第3類（杏林大学大学院学則）

科目及び単位を修得しなければならない。

（免許状の種類及び履修研究科・専攻）

第40条の4 前条に規定する単位を修得することによって得られる免許状の種類並びに履修する研究科・専攻は次のとおりとする。

履修する研究科・専攻	免許状の種類	
保健学研究科 保健学専攻	養護教諭専修免許状	養護
	中学校教諭専修免許状	保健
	高等学校教諭専修免許状	保健

第8章 除籍及び懲戒

（除籍）

第41条 次の各号の一に該当する者は、当該研究科委員会の議を経て学長がこれを除籍する。

- （1）故なくして、3月以上授業料その他の学納金の納付を怠り、督促してもなお納付しない者
- （2）第34条第2項に定める休学期間を超えて、なお修学できない者
- （3）第13条に定める在学年限を超える者
- （4）行方不明で失踪の届出のあった者

（懲戒）

第42条 本学の建学精神、教育方針に違背し、大学院学生としてふさわしくない行為をした者は、当該研究科委員会の議を経て、学長が懲戒する。

2 前項の懲戒は、その軽重に応じ、譴責、停学及び退学とする。

3 前項の退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。

- （1）性行不良で、改善の見込みのないと認められる者
- （2）学力劣等で、成業の見込みがないと認められた者
- （3）正当の理由がなくて、出席常でない者
- （4）本学の定める諸規程に反し、又は学内の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

第9章 学納金

（入学検定料、入学料等の額）

第43条 本学に入学を志願する者は、別に定める入学検定料を納入しなければならない。

2 入学料、授業料その他の学納金の額については、別表4のとおりとする。

（授業料等の納入）

第44条 授業料、施設設備費は、それぞれの年額の半額を前期、後期の始業時まで納入するものとする。

2 休学又は停学中であっても、授業料等は徴収する。ただし、休学の期間が6か月以上にわたる者の授業料その他の学納金については別に定めるところにより、減免することがある。

3 海外留学する場合、本学に納入すべき費用については別に定める。

第3類（杏林大学大学院学則）

- 4 第2項の規定にかかわらず、国際協力研究科に在籍する者で企業等に在職中の者が企業等の都合により第16条に規定する1学期間にわたり休学する場合は、授業料等は徴収しない。
- 5 前項の規定により休学する者は、企業等の所属長による休学の事由書を添付の上、学長に休学を願い出るものとする。ただし、授業料等を徴収しない休学の期間は、1年を超えることはできない。
- 6 授業料等学納金を所定の期日までに納入しない者は、授業への出席、図書の閲覧その他施設の利用を認めない。

第45条 授業料その他既納の学納金は、いかなる理由があっても還付しない。

第46条 削除

第10章 外国人特別生、科目等履修生、聴講生、特別聴講生、委託生及び研究生

（外国人特別生）

第47条 大学院に入学を希望する外国人で、外務省在外公館又は自国公館の紹介ある者は、第32条の規定にかかわらず選考のうえ、外国人特別生として入学を許可することがある。

（科目等履修生）

第47条の2 本大学院の学生以外の者で本大学院の授業科目の一部を履修することを希望する者がいるときは、教育研究上支障がない限り、科目等履修生としてこれを許可することができる。

2 科目等履修生となることができる者は、次の各号の一に該当する者でその学力を考査し、履修する科目を理解するに足る学力があると当該研究科委員会が認めた者に限るものとする。

- (1) 修業年限4年以上の大学を卒業した者
- (2) 前号と同等以上の学力があると認められた者

3 科目等履修生には本学則を準用する。ただし、科目等履修生として在学した期間は第26条及び第26条の2に定める在学期間として換算することはできない。

4 科目等履修生には第23条及び第24条の定めにより所定の単位を与える。

5 科目等履修生を希望する者の手続並びに選考料、登録料及び履修料については別に定める。

（聴講生）

第48条 特定の学科目の聴講を志願するものがあるときは、当該研究科委員会において、その学力を考査し、欠員のある場合に限り聴講を許可することができる。

2 聴講生を志願することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 修業年限4年以上の大学を卒業した者
- (2) 前号と同等以上の学力があると認められた者

3 聴講生を志願する者の手続き並びに選考料、登録料及び聴講料については別に定める。

4 大学院は、他大学大学院との協議に基づき、他大学大学院の学生で本大学院の授業科目を履修する者を特別聴講生として受け入れることができる。この特別聴講生については別に定める。

第3類（杏林大学大学院学則）

（委託生）

第49条 公共団体又は他の大学大学院生等でその公共団体又はその大学大学院の委託によって、大学院研究科における授業科目のなかで聴講を希望する者があるときは、欠員のある場合に限り当該研究科委員会の議を経た上で修学を許可することができる。

2 委託生が、聴講科目の試験に合格したときはその授業科目の修了証を授与する。

3 委託生を希望する者の手続き並びに選考料、登録料及び聴講料は別に定める。

（研究生）

第49条の2 大学院に研究生をおくことができる。

2 研究生に関し必要な事項は別に定める。

第11章 研究指導施設

（研究指導施設）

第50条 大学院に研究室、実験実習室を設ける。

2 学生は、必要に応じ図書館、各学部の施設及び医学部附属病院の施設を使用するものとする。

第12章 雑則

（改正）

第51条 この学則を改正しようとするときは、杏林学園運営審議会の議を経たうえ、改正事項が単一の研究科に係る場合は当該研究科の研究科委員会に、2つ以上の研究科に関連する場合は関連する各研究科の研究科委員会に諮り、いずれも研究科委員会委員の3分の2以上が出席し、出席者の3分の2以上の賛成を得たうえ、大学院委員会及び理事会の承認を得なければならない。

附 則

1 本学則に定めるもののほか、大学院学生については本学学則を準用する。

2 本学則を改正しようとするときは、研究科委員会委員の3分の2以上が出席し、出席者の3分の2以上の賛成を得たうえ、大学院委員会の承認を得なければならない。

3 前項の学則の改正については、理事会の承認を要する。

4 本学則は、昭和51年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和54年 4月 1日から施行し、既に在学している学生にも適用する。

附 則

本学則は、昭和57年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和59年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和61年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成 3年 4月 1日から施行する。

第3類（杏林大学大学院学則）

附 則

- 1 本学則は、平成 5年 4月 1日から施行する。
- 2 本学則を改正しようとするときは、改正事項が単一の研究科に係る場合は当該研究科の研究科委員会に、二つ以上の研究科に関連する場合は関連する各研究科の研究科委員会に諮り、いずれも研究科委員会委員の3分の2以上が出席し、出席者の3分の2以上の賛成を得たうえ、大学院委員会の承認を得なければならない。

別表1

別表2

別表3

別表4

附 則

本学則は、平成 6年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成 7年 4月 1日から施行する。ただし、第30条第2項第4号の改正規定は、平成 6年 8月10日から施行する。

附 則

本学則は、平成 8年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成 9年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成10年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成11年 4月 1日から施行する。

附 則

- 1 本学則は、平成11年 7月 1日から施行する。
- 2 第43条第1項は、平成12年度入学志願者から適用する。

附 則

本学則は、平成12年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成13年 4月 1日から施行する。ただし、別表3（1）の専攻共通科目中の事例研究については平成12年10月 1日から適用する。

附 則

- 1 本学則は、平成13年 4月 1日から施行する。
- 2 別表3-2の授業科目は、平成13年度以降の入学生から適用するものとし、別表3-1の授業科目は、平成12年度以前の入学生に適用する。
- 3 博士前期課程において平成12年度以前の入学生は、国際協力研究科博士前期課程履修規程に定める授業科目対応表により別表3-2の授業科目を受講するものとする。ただし、単位認定については、別表3-1の授業科目で行う。

附 則

本学則は、平成14年 4月 1日から施行する。

附 則

第3類（杏林大学大学院学則）

本学則は、平成14年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成14年10月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成15年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成15年 4月 1日から施行する。

附 則

- 1 本学則は、平成16年 4月 1日から施行する。
- 2 別表3-3の授業科目は、平成16年度以降の入学生から適用する。

附 則

- 1 本学則は、平成16年 4月 1日から施行する。
- 2 別表3-3（2）の授業科目は、平成15年度以前の入学生にも適用する。

附 則

本学則は、平成17年 4月 1日から施行する。

附 則

- 1 本学則は、平成18年 4月 1日から施行する。
- 2 改正後の第43条（別表4）及び第44条については、平成18年 4月 1日以降の入学生から適用し、平成17年10月 1日以前の入学生については、改正前の学則を適用する。

附 則

本学則は、平成18年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成19年 4月 1日から施行する。

附 則

- 1 本学則は、平成20年 4月 1日から施行する。ただし、第49条の2の規定は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 別表2-2及び2-3の授業科目は、平成20年度以降の入学生から適用するものとし、別表2-1の授業科目は、平成19年度以前の入学生に適用する。

附 則

本学則は、平成20年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成20年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成21年 4月 1日から施行する。

附 則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成22年 4月 1日から施行する。
（経過措置）
- 2 この学則による改正後の第14条、第18条、第27条の2及び第43条（別表4）の規定は、平成22年4月1日以降の入学生に適用し、平成21年10月1日

第3類（杏林大学大学院学則）

以前の入学生については、改正前の学則を適用する。

附 則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成22年 4月 1日から施行する。
（経過措置）
- 2 この学則による改正後の第18条の規定は、平成22年4月1日以降の入学生に適用し、平成21年10月1日以前の入学生については、改正前の学則を適用する。

附 則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成23年 4月 1日から施行する。
（経過措置）
- 2 この学則による改正後の第18条の規定は、平成23年4月1日以降の入学生に適用し、平成22年10月1日以前の入学生については、改正前の学則を適用する。

附 則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成24年 4月 1日から施行する。
（経過措置）
- 2 別表2-4及び2-5の授業科目は、平成24年度以降の入学生から適用するものとし、別表2-1、2-2、2-3の授業科目は、平成23年度以前の入学生に適用する。

附 則

本学則は、平成24年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成24年 4月 1日から施行する。

附 則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成25年 4月 1日から施行する。
（経過措置）
- 2 別表2-6の授業科目は、平成25年度以降の入学生から適用するものとし、平成24年度以前の入学生については、改正前の学則を適用する。

附 則

本学則は、平成25年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成26年 4月 1日から施行する。

附 則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成26年 4月 1日から施行する。
（経過措置）
- 2 この学則による改正後の第18条の規定は、平成26年4月1日以降の入学生に適用し、平成25年9月15日以前の入学生については、改正前の学則を適用する。

附 則

第3類（杏林大学大学院学則）

（施行期日）

1 本学則は、平成27年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

2 この学則による改正後の第18条の規定は、平成27年4月1日以降の入学生に適用し、平成26年 9月15日以前の入学生については、改正前の学則を適用する。

附 則

（施行期日）

1 本学則は、平成28年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

2 別表3-4の授業科目は、平成28年4月1日以降の入学生から適用するものとし、平成27年 9月15日以前の入学生については、改正前の学則を適用する。

附 則

本学則は、平成29年 4月 1日から施行する。

第3類 (杏林大学大学院学則)

		遺 傳 子 工 学 分 子 細 胞 生 物 学 分 子 病 態 学 学 分 子 病 態 学 演 習 学 遺 傳 子 操 作 実 験 法 学	4 4 4 4
	薬 理 学	薬 理 学 特 論 学 神 經 薬 理 学 演 習 学 神 經 薬 理 学 演 習 学 腎 臓 薬 理 学 演 習 学 腎 臓 薬 理 学 演 習 学 分 子 薬 理 学 学 薬 物 動 態 学 学 ト キ シ コ ロ ジ 一	4 4 4 4 2 2 2
	基 礎 生 命 科 学	生 物 学 特 論 学 分 子 発 生 学 特 論 学 分 子 発 生 学 演 習 学 分 子 遺 伝 学 特 論 学 分 子 生 物 学 学 生 体 化 学 特 論 学 生 体 化 学 演 習 学 生 物 物 理 学 学 生 体 工 学 学 生 体 工 学 演 習 学 放 射 線 物 理 学 学 放 射 線 物 理 学 演 習 学	4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4
病 理	病 理 学	分 子 病 理 学 学 感 染 病 理 学 学 免 疫 病 理 学 学 免 疫 病 理 学 演 習 学 人 体 病 理 学 学 人 体 病 理 学 学 人 体 病 理 解 剖 学 特 論 学 病 理 診 断 学 特 論 学 病 理 診 断 学 演 習 学 超 微 形 態 学 学 組 織 化 学 学 免 疫 組 織 化 学 学 細 胞 診 断 学 学	4 4 4 4 2 2 4 4 4 2 2 2 2
	微 生 物 学	細 菌 学 学 ウ イ ル ス 学 学 微 生 物 学 演 習 学	4 4 4

第3類 (杏林大学大学院学則)

系		感 染 免 疫 学	4
		感 染 発 症 特 論	2
		微 生 物 遺 伝 学	4
	熱 帯 病 ・ 寄 生 虫 学	熱 帯 医 学 特 論	4
		原 虫 学 特 論	4
		蠕 虫 学 特 論	2
衛 生 動 物 学 特 論		2	
東 南 ア ジ ア 疾 病 演 習		4	
	ア フ リ カ 疾 病 演 習	4	
社 会	衛 生 学	疫 学 演 習 学	4
		疫 環 境 保 健 学	4
		成 人 ・ 老 人 保 健 学	4
		産 業 保 健 学	4
	公 衆 衛 生 学	健 康 科 学	4
		地 域 保 健 学 特 論	4
		疫 学 特 論	4
		国 際 保 健 学 特 論	4
医 学	法 医 学	公 衆 栄 養 学 特 論	4
		保 健 医 療 学 演 習	4
		法 医 診 断 学 演 習	4
		法 医 病 理 学	4
		法 中 毒 学	4
	医 療 科 学	臨 床 法 医 学	2
		法 医 遺 伝 学	2
		医 療 科 学 特 論 I	4
		医 療 科 学 特 論 II	4
		医 療 科 学 演 習 I	4
系	医 療 科 学	医 療 科 学 演 習 II	4
		病 院 管 理 学 特 論	2
		医 療 經 済 学	2
		医 療 計 画 特 論	2
		医 療 情 報 学 特 論	2

第3類 (杏林大学大学院学則)

科	精神神経科学	精神医学特論	4
		精神医学演習	4
		精神病理学特論	4
		精神医学的治療論	4
		精神医学特別実習	4
	皮膚科学	医学心理	4
		皮膚病理学	4
		皮膚免疫学	4
		皮膚生化学	4
		皮膚生物学	4
	放射線医学	皮膚科学演習	4
		エックス線診断学	4
		磁気共鳴診断学	2
		核医学	4
		放射線治療学	4
	臨床病理学	超音波診断学	2
		放射線診断学演習	4
		臨床生化学	4
		臨床血液学	4
		臨床免疫学	4
外科	外科学 I	臨床微生物学	2
		臨床生化学	2
		臨床生理学	2
		臨床検査学演習	4
		消化管外科	4
		消化管外科学演習	4
		外科腫瘍学 I	4
		肝胆膵臓外科	4
	外科学 II	人工臓器移植学	4
		代謝栄養学	2
		一般外科学 I	2
		一般外科学演習 I	2
		内視鏡外科	2
		呼吸器外科	4
		呼吸器外科学演習	4
外科腫瘍学 II	4		
臓器移植学	気管食道外科	4	
	内分泌外科	4	
	一般外科学 II	2	
	一般外科学演習 II	2	
	臓器移植学	2	

第3類 (杏林大学大学院学則)

系	救 急 医 学	救 急 医 学 特 論	4
		救 急 医 学 演 習	4
		シ ョ ッ ク 侵 襲 学	4
		救 急 外 科 学	4
		集 中 治 療 医 学	4
	整 形 外 科 学	中 毒 学	4
		整 形 外 科 学 特 論	4
		整 形 外 科 学 演 習	4
		リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 学	4
		ス ポ ー ツ 医 学 特 論	4
	脳 神 經 外 科 学	検 査 実 習	4
		手 術 実 習	4
		脳 神 經 外 科 学 特 論	4
		臨 床 神 經 学	4
		脳 神 經 放 射 線 学	4
	胸 部 外 科 学	脳 神 經 腫 瘍 学	4
		神 經 耳 科 学	2
		脳 神 經 外 科 学 演 習	4
		心 臓 外 科 学 特 論	4
		心 臓 外 科 学 演 習	4
産 科 婦 人 科 学	血 管 外 科 学 特 論	4	
	血 管 外 科 学 演 習	4	
	人 工 心 臓 補 助 循 環 学	4	
	救 急 循 環 器 外 科 学	4	
	産 科 婦 人 科 学 特 論	4	
眼 科 学	婦 人 科 学 特 論	4	
	生 殖 内 分 泌 学	4	
	婦 人 科 腫 瘍 学	4	
	産 科 婦 人 科 学 演 習	4	
	眼 科 学 特 論	4	
耳 鼻 咽 喉 科 学	眼 科 学 演 習	4	
	眼 科 生 理 学	4	
	眼 病 理 学	4	
	眼 発 生 学	2	
	眼 生 化 学	2	
耳 鼻 咽 喉 科 学	耳 鼻 咽 喉 科 学 特 論	4	
	耳 鼻 咽 喉 科 学 演 習	4	
	聴 力 学	4	
	気 管 食 道 科 学	4	
	頭 頸 部 腫 瘍 学	4	
	鼻 ア レ ル ギ ー 学	4	

第3類 (杏林大学大学院学則)

泌 尿 器 科 学	泌 尿 器 科 学 特 論	4
	泌 尿 器 科 学 演 習	4
	泌 尿 器 腫 瘍 学	4
	泌 尿 器 内 視 鏡 学	4
	腎 移 植 学	4
	泌 尿 器 内 分 泌 学	2
	尿 路 結 石 学	2
麻 醉 科 学	小 兒 泌 尿 器 科 学	2
	麻 醉 科 学 特 論	4
	麻 醉 科 学 演 習	4
	疼 痛 管 理 学	4
	麻 醉 集 中 治 療 医 学	4
	小 兒 麻 醉 学	2
	心 臟 麻 醉 学	2
	神 經 麻 醉 学	2
産 科 麻 醉 学	2	
小 兒 外 科 学	小 兒 外 科 学 特 論	4
	奇 形 発 生 学	4
	消 化 管 生 理 学	4
	腫 瘍 免 疫 学	4
	小 兒 救 急 外 科 演 習	4
形 成 外 科 学	形 成 外 科 学 特 論	4
	形 成 外 科 学 演 習	4
	頭 頸 部 再 建 学	4
	四 肢 ・ 軀 幹 腫 瘍 学	4
	微 小 血 管 外 科 学	4
	皮 膚 外 科 学	4
	レ 一 ザ 一 医 学	4
	外 傷 外 科 学	4
	美 容 外 科 学	2
専 攻 共 通 科 目	基 礎 臨 床 共 通 講 義 I	4
	基 礎 臨 床 共 通 講 義 II	4

第3類 (杏林大学大学院学則)

別表 1 - 2

医学研究科における授業科目及び単位
(平成14年度入学者から適用)

専攻	専 門 分 野	授 業 科 目	単位数
生	器 官 構 築 学	系 統 解 剖 学	4
		局 所 解 剖 学	4
		神 経 解 剖 学	4
		胎 生 解 剖 学	4
		解 剖 学 特 別 演 習	4
		顕 微 解 剖 学 特 論	4
		顕 微 解 剖 学 演 習	4
		顕 微 解 剖 学 特 別 実 験	4
		組 織 細 胞 化 学 特 論	4
		生 物 学 特 論	4
		分 子 発 生 学 特 論	4
		分 子 発 生 学 演 習	4
		分 子 遺 伝 学 特 論	4
		分 子 生 物 学	4
理	病 態 生 化 学	生 体 エ ネ ル ギ ー 学 特 論	4
		生 体 エ ネ ル ギ ー 学 演 習	4
		蛋 白 質 生 物 学 特 論	4
		蛋 白 質 生 物 学 演 習	4
		病 態 生 化 学 特 論	4
		病 態 生 化 学 演 習	4
		栄 養 学 特 論	2
		栄 養 学 演 習	2
		生 化 学 特 論	4
		遺 伝 子 工 学	4
		分 子 細 胞 生 物 学	4
		分 子 病 態 学	4
		分 子 病 態 学 演 習	4
		生 体 化 学 特 論	4
生 体 化 学 演 習	4		
系		神 経 生 理 学 特 論	4
		感 覚 生 理 学	4
		大 脳 生 理 学	4
		脊 髓 脳 幹 生 理 学	4
		神 経 生 理 学 演 習	4
		生 理 学 特 論	4

第3類 (杏林大学大学院学則)

	生体機能制御学	分子生理学	4
		分子生理化学	4
		分子神経生物学	2
		分子神经化学	2
		分子生理化学演習	4
		生体工学	4
		生体工学演習	4
	分子細胞薬理学	放射線物理学演習	4
		放射線物理学演習	4
		薬理特論	4
		神経薬理演習	4
		腎臓薬理演習	4
		分子薬理演習	2
		薬物動態学	2
トキシコロジー	2		
病	腫瘍学	分子病理学	4
		感染症病理学	4
		免疫病理学	4
		免疫病理学演習	4
		人体病理学	2
		人体病理学	2
		人体病理解剖学特論	4
		病理診断学特論	4
		病理診断学演習	4
		超微形態学	2
		組織化学	2
		免疫組織化学	2
		細胞診断学	2
		理系	感染症・熱帯病学
ウイルス学	4		
微生物学演習	4		
感染症免疫学	4		
感染症発症特論	2		
微生物遺伝学	4		
熱帯医学特論	4		
寄生虫学特論	4		
衛生動物学特論	2		
東南アジア疾病演習	4		

第3類 (杏林大学大学院学則)

		アフリカ疾病演習	4
	免疫アレルギー学	臨床検査医学特論	4
		臨床検査医学演習	4
		臨床微生物学	2
		臨床生理学	2
		免疫アレルギー学特論	4
		免疫アレルギー学演習	4
社会医学系	社会医療情報学	疫学演習	4
		疫学	4
		環境保健学	4
		成人・老人保健学	4
		産業保健学	4
		地域保健学特論	4
		疫学特論	4
		国際保健学特論	4
	法科学	保健医療学演習	4
		法医学診断学	4
		法医学診断学演習	4
		法医学病理学	4
		法医学中毒学	4
		臨床法医学	2
内科系	内科学 I	腎臓病学	4
		腎臓病学演習	4
		呼吸器病学	4
		呼吸器病学演習	4
		神経内科学	4
		神経内科学演習	4
		リウマチ・膠原病学	4
		リウマチ・膠原病学演習	4
	内科学 II	感染症学	2
		免疫アレルギー病学	2
		心臓病学特論	4
		心臓病学演習	4
		虚血性心疾患特論	4
		臨床心電図学	4
	臨床血液学	4	
	臨床血液学演習	4	
	臨床血液学特論	4	
	臨床細胞学	4	
	臨床細胞学特論	4	
	臨床細胞学特論	4	

第3類 (杏林大学大学院学則)

内 科 学 III	消 化 器 病 学 I	4
	消 化 器 病 学 I 演 習	4
	消 化 器 病 学 II	4
	消 化 器 病 学 II 演 習	4
	内 分 泌 学	4
	内 分 泌 学 演 習	4
	代 謝 性 疾 患 学	4
	代 謝 性 疾 患 学 演 習	4
高 齡 医 学	消 化 器 内 視 鏡 学	2
	酸 化 ス ト レ ス と 老 化	2
	血 管 生 物 学 演 習	4
	血 管 内 皮 機 能 演 習	2
	高 脂 血 症 と 動 脈 硬 化 特 論	2
	痴 呆 の 機 能 評 価 学 演 習	4
	嚔 下 機 能 障 害 特 論	2
	寝 た き り プ ロ セ ス 特 論	2
タ ー ミ ナ ル ケ ア 技 術 特 論	4	
総 合 医 療 学	総 合 診 療 学 特 論	4
	総 合 診 療 学 演 習	4
	病 院 管 理 学 特 論	2
	医 療 経 済 学	2
	保 険 医 療 学 特 論	2
小 児 科 学	小 児 科 学 特 論	4
	小 児 科 学 演 習	4
	小 児 循 環 器 病 学	4
	小 児 神 經 科 学	4
	小 児 免 疫 学	2
	新 生 児 学	2
	小 児 保 健 学	2
	小 児 感 染 症 学	2
精 神 神 經 科 学	精 神 医 学 特 論	4
	精 神 医 学 演 習	4
	精 神 病 理 学 特 論	4
	精 神 医 学 的 治 療 論	4
	精 神 医 学 特 別 演 習	4
	医 学 心 理 学	4
皮 膚 科 学	皮 膚 病 理 学	4
	皮 膚 免 疫 学	4
	皮 膚 生 化 学	4
	皮 膚 生 物 学	4
	皮 膚 科 学 演 習	4

第3類 (杏林大学大学院学則)

	放射線医学	エックス線診断学 磁気共鳴診断学 核医学 放射線治療学 超音波診断学 放射線診断学演習	4 2 4 4 2 4				
外科系	外科学 I	消化管外科学 消化管外科学演習 外科腫瘍学 I 肝胆膵外科学 人工臓器移植学 代謝栄養学 一般外科学 I 一般外科学演習 I 内視鏡外科学	4 4 4 4 4 2 2 2 2				
		外科学 II	呼吸器外科学 呼吸器外科学演習 外科腫瘍学 II 気管食道外科学 内分泌外科学 一般外科学 II 一般外科学演習 II 臓器移植学	4 4 4 4 2 2 2 2			
			救急医学	救急医学特論 救急医学演習 シヨック侵襲学 救急外科学 集中治療医学 中毒学	4 4 4 4 4 4		
				整形外科学	整形外科学特論 整形外科学演習 リハビリテーション学 スポーツ医学特論 検査実習 手術実習	4 4 4 4 4 4	
					脳神経外科学	脳神経外科学特論 臨床神経学 脳神経放射線学 脳神経腫瘍学 神経耳科学 脳神経外科学演習	4 4 4 4 2 4

第3類 (杏林大学大学院学則)

心 臟 血 管 外 科 学	心 臟 外 科 学 特 論	4
	心 臟 外 科 学 演 習	4
	血 管 外 科 学 特 論	4
	血 管 外 科 学 演 習	4
	人 工 心 臟 補 助 循 環 学	4
產 科 婦 人 科 学	救 急 循 環 器 外 科 学	4
	產 科 学 特 論	4
	婦 人 科 学 特 論	4
	生 殖 内 分 泌 学	4
	婦 人 科 腫 瘍 学	4
產 科 婦 人 科 学 演 習	4	
眼 科 学	眼 科 学 特 論	4
	眼 科 学 演 習	4
	眼 科 生 理 学	4
	眼 病 理 学	4
	眼 癉 生 学	2
眼 科 学	眼 癉 生 学	2
	耳 鼻 咽 喉 科 学 特 論	4
	耳 鼻 咽 喉 科 学 演 習	4
	聽 力 学	4
	氣 管 食 道 科 学	4
耳 鼻 咽 喉 科 学	頭 頸 部 腫 瘍 学	4
	鼻 ア レ ル ギ 一 学	4
	泌 尿 器 科 学 特 論	4
	泌 尿 器 科 学 演 習	4
	泌 尿 器 腫 瘍 学	4
泌 尿 器 科 学	泌 尿 器 内 視 鏡 学	4
	腎 移 植 学	4
	泌 尿 器 内 分 泌 学	2
	泌 尿 路 結 石 学	2
	小 兒 泌 尿 器 科 学	2
麻 醉 科 学	麻 醉 科 学 特 論	4
	麻 醉 科 学 演 習	4
	疼 痛 管 理 学	4
	麻 醉 集 中 治 療 医 学	4
	小 兒 麻 醉 学	2
	心 臟 麻 醉 学	2
	神 經 麻 醉 学	2
產 科 麻 醉 学	2	

第3類（杏林大学大学院学則）

小 兒 外 科 学	小 兒 外 科 学 特 論	4	
	奇 形 発 生 学	4	
	消 化 管 生 理 学	4	
	腫 瘍 免 疫 学	4	
	小 兒 救 急 外 科 演 習	4	
	形 成 外 科 学	形 成 外 科 学 特 論	4
		形 成 外 科 学 演 習	4
		頭 頸 部 再 建 学	4
四 肢 ・ 軀 幹 腫 瘍 学		4	
微 小 血 管 外 科 学		4	
皮 膚 外 科 学		4	
レ 一 ザ 一 医 学		4	
外 傷 外 科 学		4	
美 容 外 科 学	2		
専 攻 共 通 科 目	基 礎 臨 床 共 通 講 義 I	4	
	基 礎 臨 床 共 通 講 義 II	4	

第3類 (杏林大学大学院学則)

別表 1 - 3

医学研究科における授業科目及び単位
(平成22年度入学者から適用)

専攻	専 門 分 野	授 業 科 目	単位数
生	器 官 構 築 学	肉眼解剖学 講義・演習	4
		肉眼解剖学 実験・実習	8
		顕微解剖学 講義・演習	4
		顕微解剖学 実験・実習	8
		ゲノム・遺伝学 講義・演習	4
		ゲノム・遺伝学 実験・実習	8
		器官構築学 課題研究	8
		器官構築学 研究論文演習	4
理	病 態 生 化 学	分子細胞生物学 講義・演習	4
		分子細胞生物学 実験・実習	8
		代謝生化学 講義・演習	4
		代謝生化学 実験・実習	8
		分子機能生化学 講義・演習	4
		分子機能生化学 実験・実習	8
		病態生化学 課題研究	8
		病態生化学 研究論文演習	4
系	生 体 機 能 制 御 学	細胞生理学 講義・演習	4
		細胞生理学 実験・実習	8
		統合生理学 講義・演習	4
		統合生理学 実験・実習	8
		生体物理工学 講義・演習	4
		生体物理工学 実験・実習	8
		生体機能制御学 課題研究	8
		生体機能制御学 研究論文演習	4
系	分 子 細 胞 薬 理 学	分子細胞薬理学 講義・演習	4
		分子細胞薬理学 実験・実習	8
		分子細胞薬理学 課題研究	8
		分子細胞薬理学 研究論文演習	4
病 理 系	病 理 学	病理学 講義・演習	4
		病理学 実験・実習	8
		病理学 課題研究	8
		病理学 研究論文演習	4
	感 染 症 ・ 熱 帯 病 学	感染症・熱帯病学 講義・演習	4
		感染症・熱帯病学 実験・実習	8
		感染症・熱帯病学 課題研究	8
		感染症・熱帯病学 研究論文演習	4

第3類 (杏林大学大学院学則)

	臨床検査医学	臨床検査医学 講義・演習 臨床検査医学 実験・実習 臨床検査医学 課題研究 臨床検査医学 研究論文演習	4 8 8 4		
社会医学系	社会医療情報学	社会医療情報学 講義・演習 社会医療情報学 実験・実習 社会医療情報学 課題研究 社会医療情報学 研究論文演習	4 8 8 4		
	法科学	法科学 講義・演習 法科学 実験・実習 法科学 課題研究 法科学 研究論文演習	4 8 8 4		
内科	内科学	呼吸器内科学 講義・演習 呼吸器内科学 実験・実習 神経内科学 講義・演習 神経内科学 実験・実習 腎臓・リウマチ膠原病内科学 講義・演習 腎臓・リウマチ膠原病内科学 実験・実習 循環器内科学 講義・演習 循環器内科学 実験・実習 血液内科学 講義・演習 血液内科学 実験・実習 消化器内科学 講義・演習 消化器内科学 実験・実習 糖尿病・内分泌・代謝内科学 講義・演習 糖尿病・内分泌・代謝内科学 実験・実習 腫瘍内科学 講義・演習 腫瘍内科学 実験・実習 内科学 課題研究 内科学 研究論文演習	4 8 4 8 4 8 4 8 4 8 4 8 4 8 4 8 8 4		
		加齢医学	加齢医学 講義・演習 加齢医学 実験・実習 加齢医学 課題研究 加齢医学 研究論文演習	4 8 8 4	
			総合医療学	総合医療学 講義・演習 総合医療学 実験・実習 総合医療学 課題研究 総合医療学 研究論文演習	4 8 8 4

第3類（杏林大学大学院学則）

別表1-4

医学研究科における授業科目及び単位
（平成27年度入学者から適用）

専攻	専門分野	授業科目	単位数
生	器官構築学	肉眼解剖学 講義・演習	4
		肉眼解剖学 実験・実習	8
		顕微解剖学 講義・演習	4
		顕微解剖学 実験・実習	8
		ゲノム・遺伝学 講義・演習	4
		ゲノム・遺伝学 実験・実習	8
		器官構築学 課題研究	8
		器官構築学 研究論文演習	4
理	病態生化学	分子細胞生物学 講義・演習	4
		分子細胞生物学 実験・実習	8
		代謝生化学 講義・演習	4
		代謝生化学 実験・実習	8
		分子機能生化学 講義・演習	4
		分子機能生化学 実験・実習	8
		病態生化学 課題研究	8
		病態生化学 研究論文演習	4
系	生体機能制御学	細胞生理学 講義・演習	4
		細胞生理学 実験・実習	8
		統合生理学 講義・演習	4
		統合生理学 実験・実習	8
		生体物理工学 講義・演習	4
		生体物理工学 実験・実習	8
		生体機能制御学 課題研究	8
		生体機能制御学 研究論文演習	4
系	分子細胞薬理学	分子細胞薬理学 講義・演習	4
		分子細胞薬理学 実験・実習	8
		分子細胞薬理学 課題研究	8
		分子細胞薬理学 研究論文演習	4
病理系	病理学	病理学 講義・演習	4
		病理学 実験・実習	8
		病理学 課題研究	8
		病理学 研究論文演習	4
	感染症・熱帯病学	感染症・熱帯病学 講義・演習	4
		感染症・熱帯病学 実験・実習	8
		感染症・熱帯病学 課題研究	8
		感染症・熱帯病学 研究論文演習	4

第3類 (杏林大学大学院学則)

	臨床検査医学	臨床検査医学 講義・演習 臨床検査医学 実験・実習 臨床検査医学 課題研究 臨床検査医学 研究論文演習	4 8 8 4	
社会医学系	社会医療情報学	社会医療情報学 講義・演習 社会医療情報学 実験・実習 社会医療情報学 課題研究 社会医療情報学 研究論文演習	4 8 8 4	
	法科学	法科学 講義・演習 法科学 実験・実習 法科学 課題研究 法科学 研究論文演習	4 8 8 4	
内科	内科学	呼吸器内科学 講義・演習 呼吸器内科学 実験・実習 神経内科学 講義・演習 神経内科学 実験・実習 腎臓・リウマチ膠原病内科学 講義・演習 腎臓・リウマチ膠原病内科学 実験・実習 循環器内科学 講義・演習 循環器内科学 実験・実習 血液内科学 講義・演習 血液内科学 実験・実習 消化器内科学 講義・演習 消化器内科学 実験・実習 糖尿病・内分泌・代謝内科学 講義・演習 糖尿病・内分泌・代謝内科学 実験・実習 腫瘍内科学 講義・演習 腫瘍内科学 実験・実習 内科学 課題研究 内科学 研究論文演習	4 8 4 8 4 8 4 8 4 8 4 8 4 8 8 4 4	
		脳卒中医学	脳卒中医学 講義・演習 脳卒中医学 実験・実習 脳卒中医学 課題研究 脳卒中医学 研究論文演習	4 8 8 4
		加齢医学	加齢医学 講義・演習 加齢医学 実験・実習 加齢医学 課題研究 加齢医学 研究論文演習	4 8 8 4

第3類 (杏林大学大学院学則)

外	脳神経外科学	脳神経外科学 講義・演習	4
		脳神経外科学 実験・実習	8
		脳神経外科学 課題研究	8
		脳神経外科学 研究論文演習	4
	心臓血管外科学	心臓血管外科学 講義・演習	4
		心臓血管外科学 実験・実習	8
		心臓血管外科学 課題研究	8
		心臓血管外科学 研究論文演習	4
産科婦人科学	産科婦人科学 講義・演習	4	
	産科婦人科学 実験・実習	8	
	産科婦人科学 課題研究	8	
	産科婦人科学 研究論文演習	4	
眼 科 学	眼科学 講義・演習	4	
	眼科学 実験・実習	8	
	眼科学 課題研究	8	
	眼科学 研究論文演習	4	
耳 鼻 咽 喉 科 学	耳鼻咽喉科学 講義・演習	4	
	耳鼻咽喉科学 実験・実習	8	
	耳鼻咽喉科学 課題研究	8	
	耳鼻咽喉科学 研究論文演習	4	
泌 尿 器 科 学	泌尿器科学 講義・演習	4	
	泌尿器科学 実験・実習	8	
	泌尿器科学 課題研究	8	
	泌尿器科学 研究論文演習	4	
麻 醉 科 学	麻醉科学 講義・演習	4	
	麻醉科学 実験・実習	8	
	麻醉科学 課題研究	8	
	麻醉科学 研究論文演習	4	
小 児 外 科 学	小児外科学 講義・演習	4	
	小児外科学 実験・実習	8	
	小児外科学 課題研究	8	
	小児外科学 研究論文演習	4	
系 形 成 外 科 学	形成外科学 講義・演習	4	
	形成外科学 実験・実習	8	
	形成外科学 課題研究	8	
	形成外科学 研究論文演習	4	
専 攻 共 通 科 目	基礎臨床共通講義 I	4	
	基礎臨床共通講義 II	2	

第3類（杏林大学大学院学則）

別表2-1

保健学研究科保健学専攻における授業科目及び単位
（平成24年度入学者から適用）

（1）博士前期課程

専門分野	授業科目	単位数
臨床検査・生命科学分野	病理学特論	2
	細胞診断学特論	2
	血液学特論	2
	感染症学特論	2
	感染症疫学特論	2
	免疫学特論	2
	解剖学特論	2
	遺伝子検査学特論	2
	遺伝子毒性評価特論	2
	分子生命科学特論	2
	機能性分子化学特論	2
	薬理学特論	2
	物理情報科学特論	2
	臨床細胞遺伝学特論	2
	病理細胞診断技術	2
	細胞診断学演習	2
	血液細胞培養・分析技術	2
	感染制御学演習	2
	細胞内寄生体学	2
	免疫解析技術	2
	光学・電子顕微鏡技術	2
	人類遺伝学研究法	2
	遺伝子解析・検査論	2
	機能分子化学演習	2
	薬物動態分析技術	2
	特別講義Ⅰ	2
	特別講義Ⅱ	2
	特別演習Ⅰ	2
特別演習Ⅱ	2	
特別研究	4	
保健学分野	保健管理学特論	2
	環境保健学特論	2
	精神保健学特論	2
	学校保健学特論	2
	遺伝教育特論	2
	保健栄養学特論	2

第3類（杏林大学大学院学則）

	保健福祉学特論	2
	心理学特論	2
	生物統計学演習	2
	地域保健福祉論	2
	環境影響評価技術	2
	精神保健分析支援技術	2
	養護教諭実践論	2
	食品栄養分析技術	2
	保健福祉制度論	2
	特別講義Ⅰ	2
	特別講義Ⅱ	2
	特別講義Ⅲ	2
	特別講義Ⅳ	2
	特別研究	4
臨床工学分野	生理学特論	2
	臨床生理学特論	2
	医用基礎工学	2
	血液浄化療法学	2
	心電学	2
	臨床神経生理学	2
	先端臨床工学	2
	医用情報システム工学	2
	人工臓器工学	2
	特別講義Ⅰ	2
	特別講義Ⅱ	2
	特別講義Ⅲ	2
特別講義Ⅳ	2	
特別研究	4	
救急救命学分野	プレホスピタル外傷学特論	2
	脳神経外科学特論	2
	中毒学	2
	臨床神経救急学	2
	特別講義Ⅰ	2
	特別講義Ⅱ	2
	特別講義Ⅲ	2
特別研究	4	
リハビリテーション科学分野	中枢神経系理学療法学特論	2
	運動器系理学療法学特論	2
	内部障害系理学療法学特論	2
	発達障害理学療法学特論	2
	地域リハビリテーション学特論	2

第3類（杏林大学大学院学則）

	高 齡 者 理 学 療 法 学 特 論	2
	運 動 機 能 障 害 作 業 療 法 学 特 論	2
	精 神 障 害 作 業 療 法 学 特 論	2
	神 經 系 作 業 療 法 学 特 論	2
	認 知 障 害 作 業 療 法 学 特 論	2
	理 学 療 法 機 能 評 価 学 演 習	2
	徒 手 理 学 療 法 学 演 習	2
	理 学 療 法 研 究 方 法 演 習	2
	発 達 障 害 理 学 療 法 学 演 習	2
	地 域 理 学 療 法 学 演 習	2
	高 齡 者 理 学 療 法 学 演 習	2
	運 動 機 能 障 害 作 業 療 法 学 演 習	2
	精 神 障 害 作 業 療 法 学 演 習	2
	神 經 系 作 業 療 法 学 演 習	2
	神 經 心 理 学 的 檢 査 法 演 習	2
	特 別 研 究	4
研 究 科 共 通 科 目	精 神 医 学	2
	救 急 医 学	2
	神 經 内 科 学	2
	循 環 器 病 学	2
	呼 吸 器 病 学	2
	腎 臟 病 学	2
	臨 床 疫 学	2
	感 染 管 理 論	2
	医 療 安 全 管 理 論	2
	專 門 横 断 モ ジ ュ ー ル 科 目 I	2
	專 門 横 断 モ ジ ュ ー ル 科 目 II	2
專 門 横 断 モ ジ ュ ー ル 科 目 III	2	

第3類（杏林大学大学院学則）

（2）博士後期課程

専門分野	授業科目	単位数
臨床検査・生命科学分野	腫瘍病理学	2
	感染症疫学	2
	免疫疫学	2
	細胞診断学	2
	血液学	2
	機能分子化学	2
	薬物動態解析学	2
	分子遺伝学	2
	染色体学	2
	分子解剖学	2
	情報工学	2
	感染症制御学	2
	生化学	2
	病理学・細胞診断学セミナー	2
	感染症学セミナー	2
	分子生命科学セミナー	2
	機能分子化学・薬物動態学セミナー	2
	人類遺伝学セミナー	2
	分子解剖学セミナー	2
	血液学セミナー	2
免疫学セミナー	2	

第3類 (杏林大学大学院学則)

保健学・救急救命学分野	疫 学	2
	環 境 保 健 学	2
	保 健 ・ 福 祉 管 理 学	2
	精 神 保 健 学	2
	養 護 教 育 学	2
	保 健 栄 養 学	2
	保 健 福 祉 学	2
	心 理 学	2
	疫 学 セ ミ ナ ー	2
	学 校 保 健 セ ミ ナ ー	2
	精 神 医 学 セ ミ ナ ー	2
	救 急 医 学	2
	脳 神 経 外 科 学	2
	救 急 医 学 ・ 中 毒 学 セ ミ ナ ー	2
	脳 神 経 外 科 学 セ ミ ナ ー	2
	特 別 講 義 I	2
	特 別 講 義 II	2
特 別 演 習 I	2	
特 別 演 習 II	2	
臨 床 工 学 分 野	生 理 学	2
	臨 床 生 理 学	2
	腎 臓 病 学	2
	循 環 器 病 学	2
	神 経 生 理 学	2
	先 端 臨 床 工 学	2
	医 用 情 報 シ ス テ ム 工 学	2
	生 理 学 ・ 医 用 基 礎 工 学 セ ミ ナ ー	2
	腎 臓 病 学 ・ 血 液 浄 化 療 法 セ ミ ナ ー	2
	循 環 器 病 態 生 理 学 セ ミ ナ ー	2
	神 経 生 理 学 セ ミ ナ ー	2
	特 別 講 義 I	2
	特 別 講 義 II	2
	特 別 演 習 I	2
特 別 演 習 II	2	

第3類（杏林大学大学院学則）

リハビリテーション 科学分野	脳卒中機能回復学	2
	がんの理学療法学	2
	徒手理学療法学	2
	生活支援工学	2
	精神障害作業療法学	2
	神経系作業療法学	2
	認知・運動・活動障害学	2
	特別講義 I	2
	特別演習 I	2

第3類（杏林大学大学院学則）

別表2-2

保健学研究科看護学専攻における授業科目及び単位
（平成25年度入学者から適用）

（1）博士前期課程

専門分野	授業科目	単位数
基礎看護科学分野	基礎看護学特論	2
	基礎看護学演習	2
	看護医療安全教育特論	2
	看護医療安全教育演習	2
	遺伝看護学特論	2
	法医看護学特論	2
	特別講義	2
	特別演習	2
	特別研究	4
実践看護科学分野	精神看護学特論Ⅰ	2
	精神看護学特論Ⅱ	2
	精神看護学特論Ⅲ	2
	精神看護学特論Ⅳ	2
	精神看護学特論Ⅴ	2
	精神看護学演習Ⅰ	2
	精神看護学演習Ⅱ	2
	精神看護学実習	10
	がん看護学特論Ⅰ	2
	がん看護学特論Ⅱ	2
	がん看護学特論Ⅲ	2
	がん看護学特論Ⅳ	4
	がん看護学演習Ⅰ	2
	がん看護学演習Ⅱ	2
	がん看護学実習	10
	クリティカルケア看護学特論Ⅰ	2
	クリティカルケア看護学特論Ⅱ	2
	クリティカルケア看護学特論Ⅲ	2
	クリティカルケア看護学特論Ⅳ	2
	クリティカルケア看護学演習Ⅰ	2
	クリティカルケア看護学演習Ⅱ	2
	クリティカルケア看護学演習Ⅲ	2
	クリティカルケア看護学実習	10
	高齢者看護学特論	2
	高齢者看護学演習	2
	ウィメンズヘルス看護学特論	2
	ウィメンズヘルス看護学演習	2

第3類（杏林大学大学院学則）

	助産学特論	2
	助産学特演論	2
	小児看護学特論Ⅰ	2
	小児看護学特論Ⅱ	2
	小児看護学演習Ⅰ	2
	小児看護学演習Ⅱ	2
	地域看護学特論Ⅰ	2
	地域看護学特論Ⅱ	2
	地域看護学演習Ⅰ	2
	地域看護学演習Ⅱ	2
	在宅看護学特論	2
	在宅看護学特演論	2
	特別講義	2
	特別演習	2
	特別研究	4
専攻共通科目	看護教育学特論	2
	看護管理理学特論	2
	看護研究方論	2
	コンサルテーション論	2
	看護政策学特論	2
	家族看護学特論	2
	フィジカルアセスメント	2
	病態生理学	2
	臨床薬理学	2
研究科共通科目	精神医学	2
	救急医学	2
	神経内科学	2
	循環器病学	2
	呼吸器病学	2
	腎臓病学	2
	臨床疫学	2
	感染管理論	2
	医療安全管理論	2
	専門横断モジュール科目Ⅰ	2
	専門横断モジュール科目Ⅱ	2
	専門横断モジュール科目Ⅲ	2

第3類（杏林大学大学院学則）

（2）博士後期課程

専門分野	授業科目	単位数
基礎看護科学分野	看護教育学 A	4
	看護教育学 B	2
	看護管理学	2
	医療安全管理学 A	4
	医療安全管理学 B	2
	生命倫理学	2
	統計学 I	2
	統計学 II	2
	感染症学	2
	伝文学	2
	英語論文作成法	2
実践看護科学分野	成人看護学 A	4
	成人看護学 B	2
	精神看護学 A	4
	精神看護学 B	2
	地域看護学 A	4
	地域看護学 B	2
	ウイメンズヘルス看護学	2
	小児看護学	2
ジャーナルクラブ	ジャーナルクラブ I	2
	ジャーナルクラブ II	2
特別研究	特別研究 I	4
	特別研究 II	2
	特別研究 III	2

第3類（杏林大学大学院学則）

別表2-3

保健学研究科保健学専攻における授業科目及び単位
（平成29年度入学者から適用）

（1）博士前期課程

専門分野	授業科目	単位数
臨床検査・生命科学分野	細胞診断学特論	2
	感染症学特論	2
	感染症疫学特論	2
	免疫学特論	2
	解剖学特論	2
	機能性分子化学特論	2
	呼吸器病学	2
	薬理学特論	2
	生体情報学特論	2
	腫瘍病理学	2
	免疫血液学特論	2
	生体分子検査学特論（1）	2
	生体分子検査学特論（2）	2
	感染症バイオセーフティ学	2
	計算科学特論	2
	臨床細胞遺伝学特論	2
	解剖学特論（感覚系）	2
	炎症免疫学	2
	神経生物学特論	2
	婦人科腫瘍学特論	2
	血液疾患薬理学	2
	解剖学特論（神経発生）	2
	神経学特論	2
	遺伝子機能解析学特論	2
	細菌・ウイルス学特論	2
	臨床検査・生命科学特別講義Ⅰ	2
	臨床検査・生命科学特別講義Ⅱ	2
	細胞診断学演習	2
	感染管理	2
	薬物動態分析技術	2
	感染制御学演習	2
	細胞内寄生体学	2
	免疫解析技術	2
	光学・電子顕微鏡技術	2
機能分子化学演習	2	
生理機能解析技術	2	
生体分子検査学演習（1）	2	
輸血検査学演習	2	
計算科学演習	2	
生体分子検査学演習（2）	2	

第3類 (杏林大学大学院学則)

	病理組織診断技術	2
	光学・電子顕微鏡技術(試料作業)	2
	臨床検査・生命科学特別演習Ⅰ	2
	臨床検査・生命科学特別演習Ⅱ	2
	特別研究	4
保健学分野	保健管理学特論	2
	地域保健福祉論	2
	臨床疫学	2
	学校保健学特論	2
	養護教育実践論	2
	健康エコーロジー特論	2
	観光保健学特論	2
	養護教諭論特論	2
	心理心理学特論	2
	認知心理学特論	2
	産業精神保健学特論	2
	学校精神保健特論	2
	産業保健学特論	2
	成人保健学特論	2
	保健福祉学特論	2
	高齢者福祉学特論	2
	保健学特別講義Ⅰ	2
	保健学特別講義Ⅱ	2
	生物統計学演習	2
	養護実践学演習	2
保健学特別演習Ⅰ	2	
保健学特別演習Ⅱ	2	
特別研究	4	
臨床工学分野	循環器病学	2
	心電学Ⅰ	2
	超音波医学Ⅰ	2
	内科学Ⅰ	2
	生理学Ⅰ	2
	環境生理学Ⅰ	2
	先端臨床工学Ⅰ	2
	先端臨床工学Ⅱ	2
	医療と工学Ⅰ	2
	人工臓器工学Ⅰ	2
	臨床生理学特論	2
	感覚と生理学Ⅰ	2
	臨床工学特別講義Ⅰ	2
	臨床工学特別講義Ⅱ	2
	臨床工学特別講義Ⅲ	2
	臨床工学特別講義Ⅳ	2
計測プログラミン	2	

第3類 (杏林大学大学院学則)

	特 別 研 究	4
救 急 救 命 学 分 野	災 害 医 学 概 論	2
	外 傷 学 特 論	2
	心 肺 蘇 生 法 特 論	2
	救 急 病 態 学 特 論	2
	救 急 救 命 学 特 別 講 義 I	2
	救 急 救 命 学 特 別 講 義 II	2
	特 別 研 究	4
リハビリテーション 科 学 分 野	作 業 科 学 特 論 I	2
	作 業 科 学 特 論 II	2
	中 枢 神 經 系 理 学 療 法 学 特 論	2
	運 動 器 系 理 学 療 法 学 特 論	2
	内 部 障 害 系 理 学 療 法 学 特 論	2
	発 達 障 害 理 学 療 法 学 特 論	2
	地 域 理 学 療 法 学 特 論	2
	高 齢 者 理 学 療 法 学 特 論	2
	精 神 障 害 作 業 療 法 学 特 論	2
	神 經 系 作 業 療 法 学 特 論	2
	認 知 障 害 作 業 療 法 学 特 論	2
	国 際 理 学 療 法 学 特 論	2
	呼 吸 循 環 系 理 学 療 法 学 特 論	2
	理 学 療 法 管 理 工 学 特 論	2
	筋 骨 格 系 理 学 療 法 学 特 論	2
	老 年 期 作 業 療 法 学 特 論	2
	生 活 環 境 支 援 学 特 論	2
	精 神 保 健 リハビテーション学特論	2
	物 理 療 法 学 特 論	2
	リハビリテーション科学特別講義 I	2
	リハビリテーション科学特別講義 II	2
	リハビリテーション科学特別講義 III	2
	リハビリテーション科学特別講義 IV	2
	理 学 療 法 機 能 評 価 学 演 習	2
	徒 手 理 学 療 法 学 演 習	2
	理 学 療 法 学 研 究 方 法 演 習	2
	発 達 障 害 理 学 療 法 学 演 習	2
	地 域 理 学 療 法 学 演 習	2
	高 齢 者 理 学 療 法 学 演 習	2
	精 神 障 害 作 業 療 法 学 演 習	2
	神 經 系 作 業 療 法 学 演 習	2
	神 經 心 理 学 的 検 査 法 演 習	2
	国 際 理 学 療 法 学 演 習	2
呼 吸 循 環 系 理 学 療 法 学 演 習	2	
ス ポ ー ツ 理 学 療 法 学 演 習	2	
地 域 作 業 療 法 学 演 習	2	
特 別 研 究	4	

第3類（杏林大学大学院学則）

診療放射線学分野	画像診断技術学特論	2
	核医学物理学特論	2
	医用画像情報学特論	2
	医用電磁気学	2
	磁気共鳴画像技術学特論	2
	放射線計測学特論	2
	原子核物理学	2
	放射線安全科学特論	2
	特別講義Ⅰ（機能画像解析学）	2
	診療放射線特別講義Ⅱ	2
	診療放射線特別講義Ⅲ	2
	画像診断技術学セミナー	2
	核医学物理学演習	2
医用画像情報学演習	2	
特別研究	4	
研究科共通科目	専門横断科目	2
	研究倫理	2

（2）博士後期課程

専門分野	授業科目	単位数
臨床検査・生命科学分野	感染症疫学	2
	免疫疫学	2
	細胞診断学	2
	機能分子化学	2
	分子解剖学	2
	感染制御学	2
	薬物動態解析学	2
	神経生物学	2
	生体侵襲と免疫	2
	分子解剖学（感覚系）	2
	神経病理学	2
	腫瘍組織学	2
	計算法学	2
	分子解剖学セミナー	2
	免疫学セミナー	2
	神経生物学セミナー	2
	応用免疫学セミナー	2
	細胞診・病理セミナー	2
	生体分子検査学セミナー（1）	2
	生体分子検査学セミナー（2）	2

第3類（杏林大学大学院学則）

保健学・救急救命学分野	疫				学	2							
	養	護	教	育	学	2							
	心		理		学	2							
	人	類	生	態	学	2							
	産	業	保	健	学	2							
	保	健	福	祉	学	2							
	臨	床	心	理	学	2							
	保	健	学	特	別	講	義	I	2				
	保	健	学	特	別	講	義	II	2				
	疫	学	セ	ミ	ナ	一	2						
	環	境	問	題	演	習	2						
	保	健	科	教	材	研	究	2					
	養	護	実	践	学	A	2						
	養	護	実	践	学	B	2						
	養	護	実	践	学	セ	ミ	ナ	一	2			
	保	健	学	特	別	演	習	I	2				
	保	健	学	特	別	演	習	II	2				
	心	肺	蘇	生	法	演	習	2					
	救	急	病	態	学		2						
	救	急	救	命	学	特	別	講	義	I	2		
救	急	救	命	学	特	別	講	義	II	2			
災	害	医	学	セ	ミ	ナ	一	2					
外	傷	セ	ミ	ナ	一	2							
救	急	救	命	学	特	別	演	習	I	2			
救	急	救	命	学	特	別	演	習	II	2			
臨床工学分野	心		電		学	II	2						
	超	音	波	医	学	II	2						
	先	端	臨	床	工	学	III	2					
	生	命	支	援	工	学	2						
	人	体	の	許	容	限	界	2					
	臨	床	工	学	特	別	講	義	I	2			
	臨	床	工	学	特	別	講	義	II	2			
	臨	床	医	学	セ	ミ	ナ	一	2				
循	環	器	病	学	セ	ミ	ナ	一	2				
リハビリテーション 科学分野	が	ん	の	理	学	療	法	学	2				
	徒	手	理	学	療	法	学	2					
	小	児	理	学	療	法	学	2					
	中	枢	神	經	系	理	学	療	法	学	2		
	国	際	理	学	療	法	学	2					
	地	域	生	活	環	境	学	2					
	作	業	科				学	2					
	精	神	障	害	作	業	療	法	学	2			
	神	經	系	作	業	療	法	学	2				
	認	知	・	運	動	・	活	動	障	害	学	2	
	老	年	期	障	害	作	業	療	法	学	2		
臨	床	理	学	療	法	推	論	学	セ	ミ	ナ	一	2

第3類（杏林大学大学院学則）

	障害者スポーツ支援学セミナー	2
	小児理学療法学セミナー	2
	臨床理学療法学研究法セミナー	2
	脳卒中上肢機能回復学セミナー	2
	神経系病態学セミナー	2
	運動器障害作業療法学特論	2
診療放射線学分野	画像診断学特論	2
	分子画像技術学特論	2
	多次元医用画像工学特論	2
	磁気共鳴画像工学特論	2
	放射線応用計測学	2
	画像診断学セミナー	2
	分子画像技術学演習	2
	多次元医用画像工学演習	2
	磁気共鳴画像工学演習	2
特別研究	特別研究Ⅰ	4
	特別研究Ⅱ	2
	特別研究Ⅲ	2

第3類（杏林大学大学院学則）

別表2-4

保健学研究科看護学専攻における授業科目及び単位
（平成29年度入学者から適用）

（1）博士前期課程

専門分野	授業科目	単位数
基礎看護科学分野	看護医療安全教育特論	2
	遺伝看護学特論	2
	法医看護学特論	2
	小児保健看護学特論	2
	生活機能看護学特論	2
	特別講義	2
	看護医療安全教育演習	2
	小児保健看護学演習	2
	生活機能看護学演習	2
	特別演習	2
特別研究	4	
実践看護科学分野	高齢者看護学特論	2
	ウイメンズヘルス看護学特論	2
	助産学特論	2
	小児看護学特論	2
	地域看護学特論Ⅰ	2
	地域看護学特論Ⅱ	2
	在宅看護学特論	2
	特別講義	2
	高齢者看護学演習	2
	ウイメンズヘルス看護学演習	2
	助産学演習	2
	小児看護学演習	2
	地域看護学演習Ⅰ	2
	地域看護学演習Ⅱ	2
	在宅看護学演習	2
特別演習（がん看護）	2	
特別演習（クリティカルケア看護）	2	
特別演習（精神看護）	2	
特別研究	4	
実践看護科学分野 （CNSコース）	がん看護学特論Ⅰ	2
	がん看護学特論Ⅱ	2
	がん看護学特論Ⅲ	2
	がん看護学特論Ⅳ	2
	がん看護学演習Ⅰ	2
	がん看護学演習Ⅱ	2
	がん看護学実習	10
	精神看護学特論Ⅰ	2
	精神看護学特論Ⅱ	2
	精神看護学特論Ⅲ	2

第3類（杏林大学大学院学則）

	精神看護学特論Ⅳ	4
	精神看護学特論Ⅴ	2
	精神看護学演習Ⅰ	2
	精神看護学演習Ⅱ	2
	精神看護学実習	10
	クリティカルケア看護学特論Ⅰ	2
	クリティカルケア看護学特論Ⅱ	2
	クリティカルケア看護学特論Ⅲ	2
	病態治療論	2
	クリティカルケア看護学演習Ⅰ	2
	クリティカルケア看護学演習Ⅱ	2
	クリティカルケア看護学演習Ⅲ	2
	クリティカルケア看護学実習	10
専攻共通科目	看護教育学特論	2
	看護管理学特論	2
	看護研究方法論	2
	コンサルテーション論	2
	看護政策学特論	2
	家族看護学特論	2
	フィジカルアセスメント	2
	病態生理学	2
	臨床薬理学	2
研究科共通科目	専門横断科目	2
	研究倫理	2

(2) 博士後期課程

専門分野	授業科目	単位数
基礎看護科学分野	生活機能看護学 A	4
	生活機能看護学 B	2
	医療安全管理学 A	4
	医療安全管理学 B	2
	統計学Ⅰ	2
	統計学Ⅱ	2
	小児保健看護学 A	4
	小児保健看護学 B	2
実践看護科学分野	成人看護学（急性期） A	4
	成人看護学（急性期） B	2
	成人看護学（慢性期） A	4
	成人看護学（慢性期） B	2
	小児看護学 A	4

第3類（杏林大学大学院学則）

	小 児 看 護 学 B	2
	精 神 看 護 学 A	4
	精 神 看 護 学 B	2
	ウ イ メ ン ズ ヘ ル ス 看 護 学 A	4
	ウ イ メ ン ズ ヘ ル ス 看 護 学 B	2
	地 域 看 護 学 A	4
	地 域 看 護 学 B	2
ジャーナルクラブ	ジ ャ ー ナ ル ク ラ ブ I	2
	ジ ャ ー ナ ル ク ラ ブ II	2
特 別 研 究	特 別 研 究 I	4
	特 別 研 究 II	2
	特 別 研 究 III	2

第3類（杏林大学大学院学則）

別表3-1（平成21年度以降の入学生に適用）

国際協力研究科課程における授業科目及び単位

（1）博士前期課程

専攻	専門分野	授業科目	単位数	備考
国際開発専攻	国際政治コース	国際秩序特論A	2	
		国際秩序特論B	2	
		世界政治・経済特論A	2	
		世界政治・経済特論B	2	
		国際紛争と危機管理A	2	
		国際紛争と危機管理B	2	
		現代中東特論A	2	
		現代中東特論B	2	
		現代中国特論A	2	
		現代中国特論B	2	
		現代東アジア特論A	2	
		現代東アジア特論B	2	
		現代中国文化社会特論A	2	
		現代中国文化社会特論B	2	
		現代ロシア特論A	2	
		現代ロシア特論B	2	
		現代アメリカ特論A	2	
		現代アメリカ特論B	2	
		アジア交流史A	2	
		アジア交流史B	2	
		国際コミュニケーション特論A	2	
		国際コミュニケーション特論B	2	
	開発協力コース	世界経済特論A	2	
		世界経済特論B	2	
		国際貿易特論A	2	
		国際貿易特論B	2	
		国際金融特論A	2	
		国際金融特論B	2	
開発経済学特論A		2		
開発経済学特論B		2		
開発政策特論A		2		
開発政策特論B		2		
開発社会学特論A		2		
開発社会学特論B		2		
開発政治学特論A		2		
開発政治学特論B		2		

第3類（杏林大学大学院学則）

	開発援助論A	2	
	開発援助論B	2	
	技術協力実践論A	2	
	技術協力実践論B	2	
	NGO特論A	2	
	NGO特論B	2	
	統計学・データ解析特論A	2	
	統計学・データ解析特論B	2	
国際ビジネス コース	社会変容特論A	2	
	社会変容特論B	2	
	国際人材開発特論A	2	
	国際人材開発特論B	2	
	国際企業文化特論A	2	
	国際企業文化特論B	2	
	国際商法特論A	2	
	国際商法特論B	2	
	比較会計特論A	2	
	比較会計特論B	2	
	国際経営特論A	2	
	国際経営特論B	2	
	国際経営情報特論A	2	
	国際経営情報特論B	2	
	マーケティング特論A	2	
	マーケティング特論B	2	
	比較税法特論A	2	
	比較税法特論B	2	
	租税法特論A	2	
	租税法特論B	2	
国際法制コース	国際法特論A	2	
	国際法特論B	2	
	比較憲法特論A	2	
	比較憲法特論B	2	
	比較家族法特論A	2	
	比較家族法特論B	2	
	比較財産法特論A	2	
	比較財産法特論B	2	
	比較私法特論A	2	
	比較私法特論B	2	
	比較刑事法特論A	2	
	比較刑事法特論B	2	

第3類（杏林大学大学院学則）

国際文化交流専攻	言語文化研究	対照言語学特論A	2	
		対照言語学特論B	2	
		比較言語社会学特論A	2	
		比較言語社会学特論B	2	
		言語文化相関論A	2	
		言語文化相関論B	2	
		文化交流における言語特論A	2	
		文化交流における言語特論B	2	
		対照音韻学特論A	2	
		対照音韻学特論B	2	
		国際コミュニケーション特論A	2	
		国際コミュニケーション特論B	2	
		バイリンガル教育特論A	2	
		バイリンガル教育特論B	2	
	日本研究	日本文化論A	2	
		日本文化論B	2	
		日本文学特論A	2	
		日本文学特論B	2	
		日本語構造論A	2	
		日本語構造論B	2	
		日本語教育特論ⅠA	2	
		日本語教育特論ⅠB	2	
		日本語教育特論ⅡA	2	
		日本語教育特論ⅡB	2	
		アジアにおける日本文化特論A	2	
		アジアにおける日本文化特論B	2	
	文化交流研究	アジア交流史A	2	
		アジア交流史B	2	
		アジア地域圏交流実践論A	2	
		アジア地域圏交流実践論B	2	
アジア地域圏文化交流特論A		2		
アジア地域圏文化交流特論B		2		
日欧文化交流史A		2		
日欧文化交流史B		2		
欧米地域圏交流実践論A		2		
欧米地域圏交流実践論B		2		
欧米地域圏文化交流特論A		2		
欧米地域圏文化交流特論B		2		
中南米文化社会特論A		2		
中南米文化社会特論B		2		

第3類 (杏林大学大学院学則)

		現代中国文化社会特論A	2	
		現代中国文化社会特論B	2	
		文化交流実践論A	2	
		文化交流実践論B	2	
		比較文化社会特論A	2	
		比較文化社会特論B	2	
		国際観光論A	2	
		国際観光論B	2	
		比較教育特論A	2	
		比較教育特論B	2	
国際医療協力専攻	共通基礎分野	国際協力研究法Ⅰ	2	} 必修
		国際協力研究法Ⅱ	2	
	社会・環境分野	環境保健学特論	2	
		医療社会学特論	2	
		医療経済学特論	2	
		医療協力関連法規論	2	
		社会福祉学特論	2	
		人類生態学特論	2	
		環境汚染学特論	2	
		環境衛生学特論	2	
		母子保健学特論	2	
		地域保健学特論	2	
	国際疫学特論	2		
	医療分野	感染症学特論	2	
有事医療特論		2		
医療安全特論		2		
地域看護学特論		2		
疾病予防論		2		
熱帯病・寄生虫学特論		2		
疾病概論		2		
国際言語コミュニケーション専攻	英語コミュニケーション概論A	英語コミュニケーション概論A	2	} 必修
		英語コミュニケーション概論B	2	
	英語コミュニケーション研究コース	国際言語文化論A	2	
		国際言語文化論B	2	
		日英比較言語社会学特論A	2	
		日英比較言語社会学特論B	2	
		日欧文化交流史A	2	
		日欧文化交流史B	2	
		欧米地域圏交流実践論A	2	
		欧米地域圏交流実践論B	2	

第3類 (杏林大学大学院学則)

		通訳・翻訳の理論と技法特論 (英語分野) A	2	
		通訳・翻訳の理論と技法特論 (英語分野) B	2	
	日中通訳翻訳 研究コース	日中通訳翻訳概論A	2	} 必修
		日中通訳翻訳概論B	2	
		国際言語文化論A	2	
		国際言語文化論B	2	
		日中逐次通訳特論A	2	
		日中逐次通訳特論B	2	
		日中同時通訳特論A	2	
		日中同時通訳特論B	2	
		通訳理論と技法特論 (中国語分野) A	2	
		通訳理論と技法特論 (中国語分野) B	2	
		翻訳理論と技法特論 (中国語分野) A	2	
		翻訳理論と技法特論 (中国語分野) B	2	
専攻共通科目			文化人類学特論A	2
		文化人類学特論B	2	
	演習	国際政治 I	8	
		国際政治 II-1	2	
		国際政治 II-2	2	
		国際政治 (海外、企業等実習) III-1	2	
		国際政治 (海外、企業等実習) III-2	2	
		開発協力 I	8	
		開発協力 II-1	2	
		開発協力 II-2	2	
		開発協力 (海外、企業等実習) III-1	2	
		開発協力 (海外、企業等実習) III-2	2	
		国際ビジネス I	8	
		国際ビジネス II-1	2	
		国際ビジネス II-2	2	
		国際ビジネス (海外、企業等実習) III-1	2	
		国際ビジネス (海外、企業等実習) III-2	2	
		国際法制 I	8	
		国際法制 II-1	2	
		国際法制 II-2	2	
	国際法制 (海外、企業等実習) III-1	2		
	国際法制 (海外、企業等実習) III-2	2		
	言語と文化交流 I	8		
	言語と文化交流 II-1	2		
	言語と文化交流 II-2	2		
	言語と文化交流(海外、企業等実習) III-1	2		
	言語と文化交流(海外、企業等実習) III-2	2		

第3類（杏林大学大学院学則）

	言語コミュニケーションⅠ	8	
	言語コミュニケーションⅡ-1	2	
	言語コミュニケーションⅡ-2	2	
	言語コミュニケーション(海外、企業等実習)Ⅲ1	2	
	言語コミュニケーション(海外、企業等実習)Ⅲ2	2	
事例研究	国際医療協力Ⅰ	8	
	国際医療協力Ⅱ-1	2	
	国際医療協力Ⅱ-2	2	
	国際医療協力(海外、企業等実習)Ⅲ-1	2	
	国際医療協力(海外、企業等実習)Ⅲ-2	2	

第3類（杏林大学大学院学則）

（2）博士後期課程

専攻	専門分野	授 業 科 目	単位数	備 考	
開発問題専攻	政治経済・法制	国際秩序論演習Ⅰ	4		
		国際秩序論演習Ⅱ	4		
		国際秩序論演習Ⅲ	4		
		世界政治・経済論演習Ⅰ	4		
		世界政治・経済論演習Ⅱ	4		
		世界政治・経済論演習Ⅲ	4		
		国際経営情報論演習Ⅰ	4		
		国際経営情報論演習Ⅱ	4		
		国際経営情報論演習Ⅲ	4		
		世界経済論演習Ⅰ	4		
		世界経済論演習Ⅱ	4		
		世界経済論演習Ⅲ	4		
		比較会計論演習Ⅰ	4		
		比較会計論演習Ⅱ	4		
		比較会計論演習Ⅲ	4		
		比較法制論演習Ⅰ	4		
		比較法制論演習Ⅱ	4		
		比較法制論演習Ⅲ	4		
		比較財産法演習Ⅰ	4		
		比較財産法演習Ⅱ	4		
		比較財産法演習Ⅲ	4		
		比較家族法論演習Ⅰ	4		
		比較家族法論演習Ⅱ	4		
		比較家族法論演習Ⅲ	4		
		国際紛争と危機管理論	2		
	国際法論	2			
		地域研究・開発協力	国際開発論演習Ⅰ	4	
			国際開発論演習Ⅱ	4	
			国際開発論演習Ⅲ	4	
			国際協力論演習Ⅰ	4	
			国際協力論演習Ⅱ	4	
			国際協力論演習Ⅲ	4	
			中国对外政策論演習Ⅰ	4	
	中国对外政策論演習Ⅱ		4		
	中国对外政策論演習Ⅲ		4		
	現代中国政治論演習Ⅰ		4		
	現代中国政治論演習Ⅱ		4		
	現代中国政治論演習Ⅲ		4		

第3類 (杏林大学大学院学則)

	熱帯地域疾病論演習Ⅰ	4
	熱帯地域疾病論演習Ⅱ	4
	熱帯地域疾病論演習Ⅲ	4
	人類生態学演習Ⅰ	4
	人類生態学演習Ⅱ	4
	人類生態学演習Ⅲ	4
	環境保健学演習Ⅰ	4
	環境保健学演習Ⅱ	4
	環境保健学演習Ⅲ	4
	環境衛生学演習Ⅰ	4
	環境衛生学演習Ⅱ	4
	環境衛生学演習Ⅲ	4
	地域保健学演習Ⅰ	4
	地域保健学演習Ⅱ	4
	地域保健学演習Ⅲ	4
	対照言語論演習Ⅰ	4
	対照言語論演習Ⅱ	4
	対照言語論演習Ⅲ	4
	言語文化史論演習Ⅰ	4
	言語文化史論演習Ⅱ	4
	言語文化史論演習Ⅲ	4
	日本言語文化論演習Ⅰ	4
	日本言語文化論演習Ⅱ	4
	日本言語文化論演習Ⅲ	4
	日本語教授法論演習Ⅰ	4
	日本語教授法論演習Ⅱ	4
	日本語教授法論演習Ⅲ	4
	日本語教育論演習Ⅰ	4
	日本語教育論演習Ⅱ	4
	日本語教育論演習Ⅲ	4
	医療計画論	2
	地域政策論	2
	ロシア極東論	2
	東南アジア論	2
	中東論	2
	国際企業文化論	2
	国際コミュニケーション論	2
	開発人類学	2
	比較文化論	2
	バイリンガル教育論	2
	言語文化論	2

第3類（杏林大学大学院学則）

別表3-2（平成23年度以降の入学生に適用）

国際協力研究科課程における授業科目及び単位

（1）博士前期課程

専攻	専門分野	授 業 科 目	単位数	備 考
国際開発専攻	国際政治研究	国際政治特論A	2	
		国際政治特論B	2	
		国際政治経済特論A	2	
		国際政治経済特論B	2	
		安全保障特論A	2	
		安全保障特論B	2	
		現代アジア特論A	2	
		現代アジア特論B	2	
		現代アメリカ特論A	2	
		現代アメリカ特論B	2	
		アジア交流史特論A	2	
		アジア交流史特論B	2	
		日本政治特論A	2	
		日本政治特論B	2	
		国際法特論A	2	
		国際法特論B	2	
		地域圏特論A	2	
		地域圏特論B	2	
	国際経済研究	世界経済特論A	2	
		世界経済特論B	2	
		国際貿易特論A	2	
		国際貿易特論B	2	
		国際金融特論A	2	
		国際金融特論B	2	
		国際協力特論A	2	
		国際協力特論B	2	
		国際開発特論A	2	
		国際開発特論B	2	
技術協力実践論A	2			
技術協力実践論B	2			
NGO特論A	2			
NGO特論B	2			

第3類（杏林大学大学院学則）

国際ビジネス研究	国際企業文化特論A	2	
	国際企業文化特論B	2	
	商法特論A	2	
	商法特論B	2	
	会計特論A	2	
	会計特論B	2	
	国際経営特論A	2	
	国際経営特論B	2	
	マーケティング特論A	2	
	マーケティング特論B	2	
	国際会計特論A	2	
	国際会計特論B	2	
	国際コミュニケーション特論A	2	
	国際コミュニケーション特論B	2	
	法律税務研究	憲法特論A	2
憲法特論B		2	
相続法特論A		2	
相続法特論B		2	
財産法特論A		2	
財産法特論B		2	
刑事法特論A		2	
刑事法特論B		2	
税法特論A		2	
税法特論B		2	
租税法特論A		2	
租税法特論B		2	
情報法制特論A		2	
情報法制特論B		2	
国際文化交流専攻	言語学特論A	2	
	言語学特論B	2	
	対照言語学特論A	2	
	対照言語学特論B	2	
	対照音韻学特論A	2	
	対照音韻学特論B	2	
	日本語構造論A	2	
	日本語構造論B	2	

第3類（杏林大学大学院学則）

	言語文化研究	言語文化相関論 A 言語文化相関論 B 日本語文化特論 A 日本語文化特論 B 日本語教育特論 I A 日本語教育特論 I B 日本語教育特論 II A 日本語教育特論 II B バイリンガル教育特論 A バイリンガル教育特論 B	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
	文化交流研究	日本文化特論 A 日本文化特論 B 文化交流特論 A 文化交流特論 B 現代中国文化社会特論 A 現代中国文化社会特論 B 国際観光特論 A 国際観光特論 B	2 2 2 2 2 2 2 2	
国際医療協力専攻	国際保健学研究	保健医療研究法 I 保健医療研究法 II 環境保健学特論 社会福祉学特論 人類生態学特論 環境汚染特論 栄養エコロジー特論 母子保健学特論 地域保健学特論 国際疫学特論 環境経済学特論	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
	国際医療研究	感染症・寄生虫学特論 災害医療特論 医療安全特論 医療特論 基礎医学特論 疾病概論 医療社会学特論 医療経済学特論 医療協力関連法規論	2 2 2 2 2 2 2 2 2	

第3類（杏林大学大学院学則）

国際言語コミュニケーション専攻	英語コミュニケーション研究	英語コミュニケーション概論A	2	
		英語コミュニケーション概論B	2	
		国際言語文化論（英語分野）A	2	
		国際言語文化論（英語分野）B	2	
		日英比較言語社会学特論A	2	
		日英比較言語社会学特論B	2	
		日欧文化交流史A	2	
		日欧文化交流史B	2	
		欧米地域圏交流実践論A	2	
		欧米地域圏交流実践論B	2	
		通訳・翻訳の理論と技法特論（英語分野）A	2	
	通訳・翻訳の理論と技法特論（英語分野）B	2		
	日中通訳翻訳研究	日中通訳概論A	2	
		日中通訳概論B	2	
		日中翻訳概論A	2	
		日中翻訳概論B	2	
		国際言語文化論（中国語分野）A	2	
		国際言語文化論（中国語分野）B	2	
		日中比較文化論A	2	
日中比較文化論B		2		
日中逐次通訳特論ⅠA		2		
日中逐次通訳特論ⅠB		2		
日中逐次通訳特論ⅡA		2		
日中逐次通訳特論ⅡB		2		
日中同時通訳特論A		2		
日中同時通訳特論B		2		
通訳理論と技法特論（中国語分野）A	2			
通訳理論と技法特論（中国語分野）B	2			
翻訳理論と技法特論（中国語分野）A	2			
翻訳理論と技法特論（中国語分野）B	2			
専攻共通	演習	論文指導Ⅰ	8	
		論文指導Ⅱ－1	2	
		論文指導Ⅱ－2	2	
		論文指導（海外、企業等実習）Ⅲ－1	2	
		論文指導（海外、企業等実習）Ⅲ－2	2	

第3類（杏林大学大学院学則）

（2）博士後期課程

専攻	専門分野	授業科目	単位数	備考
開発問題専攻	政治経済・法制	国際経営論演習Ⅰ	4	
		国際経営論演習Ⅱ	4	
		国際経営論演習Ⅲ	4	
		世界経済論演習Ⅰ	4	
		世界経済論演習Ⅱ	4	
		世界経済論演習Ⅲ	4	
		会計学演習Ⅰ	4	
		会計学演習Ⅱ	4	
		会計学演習Ⅲ	4	
		比較法制論演習Ⅰ	4	
		比較法制論演習Ⅱ	4	
		比較法制論演習Ⅲ	4	
		財産法演習Ⅰ	4	
		財産法演習Ⅱ	4	
		財産法演習Ⅲ	4	
		家族法演習Ⅰ	4	
		家族法演習Ⅱ	4	
		家族法演習Ⅲ	4	
		医事法演習Ⅰ	4	
		医事法演習Ⅱ	4	
		医事法演習Ⅲ	4	
		国際法論	2	
国際経済論	2			
国際政治論	2			

第3類 (杏林大学大学院学則)

地域研究・開発 協力	国際貿易論演習Ⅰ	4
	国際貿易論演習Ⅱ	4
	国際貿易論演習Ⅲ	4
	国際協力論演習Ⅰ	4
	国際協力論演習Ⅱ	4
	国際協力論演習Ⅲ	4
	現代中国政治論演習Ⅰ	4
	現代中国政治論演習Ⅱ	4
	現代中国政治論演習Ⅲ	4
	人類生態学演習Ⅰ	4
	人類生態学演習Ⅱ	4
	人類生態学演習Ⅲ	4
	環境保健学演習Ⅰ	4
	環境保健学演習Ⅱ	4
	環境保健学演習Ⅲ	4
	環境汚染演習Ⅰ	4
	環境汚染演習Ⅱ	4
	環境汚染演習Ⅲ	4
	地域保健学演習Ⅰ	4
	地域保健学演習Ⅱ	4
	地域保健学演習Ⅲ	4
	医療経済学演習Ⅰ	4
	医療経済学演習Ⅱ	4
	医療経済学演習Ⅲ	4
	社会言語学演習Ⅰ	4
	社会言語学演習Ⅱ	4
	社会言語学演習Ⅲ	4
	日本語教授法論演習Ⅰ	4
	日本語教授法論演習Ⅱ	4
	日本語教授法論演習Ⅲ	4
	日本語教育論演習Ⅰ	4
	日本語教育論演習Ⅱ	4
	日本語教育論演習Ⅲ	4
	言語文化論演習Ⅰ	4
	言語文化論演習Ⅱ	4
	言語文化論演習Ⅲ	4
	国際言語コミュニケーション(英語分野)演習Ⅰ	4
	国際言語コミュニケーション(英語分野)演習Ⅱ	4
	国際言語コミュニケーション(英語分野)演習Ⅲ	4
	国際言語コミュニケーション(中国語分野)演習Ⅰ	4
国際言語コミュニケーション(中国語分野)演習Ⅱ	4	

第3類（杏林大学大学院学則）

	国際言語コミュニケーション（中国語分野）演習Ⅲ	4
	栄養環境論	2
	地域開発論	2
	国際コミュニケーション論	2
	日本語文化論	2
	比較文化論	2
	異文化コミュニケーション論	2
	言語文化論	2

第3類（杏林大学大学院学則）

別表3-3（平成26年度以降の入学生に適用）

国際協力研究科課程における授業科目及び単位

（1）博士前期課程

専攻	専門分野	授業科目	単位数	備考
国際開発専攻	国際政治研究	国際政治特論A	2	
		国際政治特論B	2	
		国際政治経済特論A	2	
		国際政治経済特論B	2	
		安全保障特論A	2	
		安全保障特論B	2	
		現代アジア特論A	2	
		現代アジア特論B	2	
		現代アメリカ特論A	2	
		現代アメリカ特論B	2	
		アジア交流史特論A	2	
		アジア交流史特論B	2	
		日本政治特論A	2	
		日本政治特論B	2	
		国際法特論A	2	
		国際法特論B	2	
		地域圏特論A	2	
		地域圏特論B	2	
	国際経済研究	世界経済特論A	2	
		世界経済特論B	2	
		国際貿易特論A	2	
		国際貿易特論B	2	
		国際金融特論A	2	
		国際金融特論B	2	
		国際協力特論A	2	
		国際協力特論B	2	
		国際開発特論A	2	
		国際開発特論B	2	
技術協力実践論A	2			
技術協力実践論B	2			
NGO特論A	2			
NGO特論B	2			

第3類（杏林大学大学院学則）

国際ビジネス研究	国際企業文化特論A	2	
	国際企業文化特論B	2	
	商法特論A	2	
	商法特論B	2	
	会計特論A	2	
	会計特論B	2	
	国際経営特論A	2	
	国際経営特論B	2	
	マーケティング特論A	2	
	マーケティング特論B	2	
	国際会計特論A	2	
	国際会計特論B	2	
	国際コミュニケーション特論A	2	
	国際コミュニケーション特論B	2	
	法律税務研究	憲法特論A	2
憲法特論B		2	
相続法特論A		2	
相続法特論B		2	
財産法特論A		2	
財産法特論B		2	
刑事法特論A		2	
刑事法特論B		2	
税法特論A		2	
税法特論B		2	
租税法特論A		2	
租税法特論B		2	
情報法制特論A		2	
情報法制特論B		2	
国際文化交流専攻	言語学特論A	2	
	言語学特論B	2	
	対照言語学特論A	2	
	対照言語学特論B	2	
	対照音韻学特論A	2	
	対照音韻学特論B	2	
	日本語構造論A	2	
	日本語構造論B	2	

第3類（杏林大学大学院学則）

	言語文化研究	言語文化相関論 A 言語文化相関論 B 日本語文化特論 A 日本語文化特論 B 日本語教育特論 I A 日本語教育特論 I B 日本語教育特論 II A 日本語教育特論 II B バイリンガル教育特論 A バイリンガル教育特論 B	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
	文化交流研究	日本文化特論 A 日本文化特論 B 文化交流特論 A 文化交流特論 B 現代中国文化社会特論 A 現代中国文化社会特論 B 国際観光特論 A 国際観光特論 B	2 2 2 2 2 2 2 2	
国際医療協力専攻	国際保健学研究	保健医療研究法 I 保健医療研究法 II 環境保健学特論 社会福祉学特論 人類生態学特論 環境汚染特論 栄養エコロジー特論 母子保健学特論 地域保健学特論 国際疫学特論 環境経済学特論 ヘルスコミュニケーション特論	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
	国際医療研究	感染症・寄生虫学特論 災害医療特論 医療安全特論 医療特論 基礎医学特論 疾病概論 医療社会学特論 医療経済学特論 医療協力関連法規論	2 2 2 2 2 2 2 2 2	

第3類（杏林大学大学院学則）

国際言語コミュニケーション専攻	英語コミュニケーション研究	英語コミュニケーション概論A	2	
		英語コミュニケーション概論B	2	
		国際言語文化論（英語分野）A	2	
		国際言語文化論（英語分野）B	2	
		日英比較言語社会学特論A	2	
		日英比較言語社会学特論B	2	
		日欧文化交流史A	2	
		日欧文化交流史B	2	
		欧米地域圏交流実践論A	2	
		欧米地域圏交流実践論B	2	
		通訳・翻訳の理論と技法特論（英語分野）A	2	
	通訳・翻訳の理論と技法特論（英語分野）B	2		
	日中通訳翻訳研究	日中通訳概論A	2	
		日中通訳概論B	2	
		日中翻訳概論A	2	
		日中翻訳概論B	2	
		国際言語文化論（中国語分野）A	2	
		国際言語文化論（中国語分野）B	2	
		日中比較文化論A	2	
日中比較文化論B		2		
日中逐次通訳特論ⅠA		2		
日中逐次通訳特論ⅠB		2		
日中逐次通訳特論ⅡA		2		
日中逐次通訳特論ⅡB		2		
日中同時通訳特論A		2		
日中同時通訳特論B		2		
通訳理論と技法特論（中国語分野）A	2			
通訳理論と技法特論（中国語分野）B	2			
翻訳理論と技法特論（中国語分野）A	2			
翻訳理論と技法特論（中国語分野）B	2			
専攻共通	演習	論文指導Ⅰ	8	
		論文指導Ⅱ－1	2	
		論文指導Ⅱ－2	2	
		論文指導（海外、企業等実習）Ⅲ－1	2	
		論文指導（海外、企業等実習）Ⅲ－2	2	

第3類（杏林大学大学院学則）

（2）博士後期課程

専攻	専門分野	授業科目	単位数	備考
開発問題専攻	政治経済・法制	国際経営論演習Ⅰ	4	
		国際経営論演習Ⅱ	4	
		国際経営論演習Ⅲ	4	
		世界経済論演習Ⅰ	4	
		世界経済論演習Ⅱ	4	
		世界経済論演習Ⅲ	4	
		会計学演習Ⅰ	4	
		会計学演習Ⅱ	4	
		会計学演習Ⅲ	4	
		比較法制論演習Ⅰ	4	
		比較法制論演習Ⅱ	4	
		比較法制論演習Ⅲ	4	
		財産法演習Ⅰ	4	
		財産法演習Ⅱ	4	
		財産法演習Ⅲ	4	
		医事法演習Ⅰ	4	
		医事法演習Ⅱ	4	
		医事法演習Ⅲ	4	
		国際法論	2	
		国際経済論	2	
国際政治論	2			

第3類 (杏林大学大学院学則)

地域研究・開発 協力	国際貿易論演習Ⅰ	4
	国際貿易論演習Ⅱ	4
	国際貿易論演習Ⅲ	4
	国際協力論演習Ⅰ	4
	国際協力論演習Ⅱ	4
	国際協力論演習Ⅲ	4
	現代中国政治論演習Ⅰ	4
	現代中国政治論演習Ⅱ	4
	現代中国政治論演習Ⅲ	4
	人類生態学演習Ⅰ	4
	人類生態学演習Ⅱ	4
	人類生態学演習Ⅲ	4
	環境保健学演習Ⅰ	4
	環境保健学演習Ⅱ	4
	環境保健学演習Ⅲ	4
	環境汚染演習Ⅰ	4
	環境汚染演習Ⅱ	4
	環境汚染演習Ⅲ	4
	地域保健学演習Ⅰ	4
	地域保健学演習Ⅱ	4
	地域保健学演習Ⅲ	4
	医療経済学演習Ⅰ	4
	医療経済学演習Ⅱ	4
	医療経済学演習Ⅲ	4
	社会言語学演習Ⅰ	4
	社会言語学演習Ⅱ	4
	社会言語学演習Ⅲ	4
	日本語教授法論演習Ⅰ	4
	日本語教授法論演習Ⅱ	4
	日本語教授法論演習Ⅲ	4
	日本語教育論演習Ⅰ	4
	日本語教育論演習Ⅱ	4
	日本語教育論演習Ⅲ	4
	言語文化論演習Ⅰ	4
	言語文化論演習Ⅱ	4
	言語文化論演習Ⅲ	4
	国際言語コミュニケーション(英語分野)演習Ⅰ	4
	国際言語コミュニケーション(英語分野)演習Ⅱ	4
	国際言語コミュニケーション(英語分野)演習Ⅲ	4
	国際言語コミュニケーション(中国語通訳分野)演習Ⅰ	4
国際言語コミュニケーション(中国語通訳分野)演習Ⅱ	4	

第3類（杏林大学大学院学則）

	国際言語コミュニケーション（中国語通訳分野）演習Ⅲ	4
	国際言語コミュニケーション（中国語通訳分野）演習Ⅰ	4
	国際言語コミュニケーション（中国語通訳分野）演習Ⅱ	4
	国際言語コミュニケーション（中国語通訳分野）演習Ⅲ	4
	栄養環境論	2
	地域開発論	2
	国際コミュニケーション論	2
	日本語文化論	2
	比較文化論	2
	異文化コミュニケーション論	2
	言語文化論	2

第3類（杏林大学大学院学則）

別表3-4（平成28年度以降の入学生に適用）

国際協力研究科課程における授業科目及び単位

（1）博士前期課程

専攻	専門分野	授業科目	単位数	備考
国際開発専攻	国際政治研究	国際政治特論A	2	
		国際政治特論B	2	
		国際政治経済特論A	2	
		国際政治経済特論B	2	
		安全保障特論A	2	
		安全保障特論B	2	
		現代アジア特論A	2	
		現代アジア特論B	2	
		現代アメリカ特論A	2	
		現代アメリカ特論B	2	
		アジア交流史特論A	2	
		アジア交流史特論B	2	
		日本政治特論A	2	
		日本政治特論B	2	
		国際法特論A	2	
		国際法特論B	2	
		地域圏特論A	2	
		地域圏特論B	2	
	国際経済研究	世界経済特論A	2	
		世界経済特論B	2	
		国際貿易特論A	2	
		国際貿易特論B	2	
		国際金融特論A	2	
		国際金融特論B	2	
		国際協力特論A	2	
		国際協力特論B	2	
		国際開発特論A	2	
		国際開発特論B	2	
技術協力実践論A	2			
技術協力実践論B	2			
NGO特論A	2			
NGO特論B	2			

第3類（杏林大学大学院学則）

国際ビジネス研究	国際企業文化特論A	2	
	国際企業文化特論B	2	
	商法特論A	2	
	商法特論B	2	
	会計特論A	2	
	会計特論B	2	
	国際経営特論A	2	
	国際経営特論B	2	
	マーケティング特論A	2	
	マーケティング特論B	2	
	国際会計特論A	2	
	国際会計特論B	2	
	国際コミュニケーション特論A	2	
	国際コミュニケーション特論B	2	
	法律税務研究	憲法特論A	2
憲法特論B		2	
相続法特論A		2	
相続法特論B		2	
財産法特論A		2	
財産法特論B		2	
刑事法特論A		2	
刑事法特論B		2	
税法特論A		2	
税法特論B		2	
租税法特論A		2	
租税法特論B		2	
情報法制特論A		2	
情報法制特論B		2	
国際文化交流専攻	言語学特論A	2	
	言語学特論B	2	
	対照言語学特論A	2	
	対照言語学特論B	2	
	対照音韻学特論A	2	
	対照音韻学特論B	2	
	日本語構造論A	2	
	日本語構造論B	2	

第3類（杏林大学大学院学則）

	言語文化研究	言語文化相関論 A 言語文化相関論 B 日本語文化特論 A 日本語文化特論 B 日本語教育特論 I A 日本語教育特論 I B 日本語教育特論 II A 日本語教育特論 II B バイリンガル教育特論 A バイリンガル教育特論 B	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
	文化交流研究	日本文化特論 A 日本文化特論 B 文化交流特論 A 文化交流特論 B 現代中国文化社会特論 A 現代中国文化社会特論 B 国際観光特論 A 国際観光特論 B 日欧文化交流史 A 日欧文化交流史 B	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
国際医療協力専攻	国際保健学研究	保健医療研究法 I 保健医療研究法 II 環境保健学特論 社会福祉学特論 人類生態学特論 環境問題特論 母子保健学特論 国際疫学特論 環境経済学特論 ヘルスコミュニケーション特論	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
	国際医療研究	感染症・寄生虫学特論 災害医療特論 医療安全特論 医療特論 基礎医学特論 疾病概論 医療社会学特論 医療経済学特論 医療協力関連法規論	2 2 2 2 2 2 2 2 2	

第3類（杏林大学大学院学則）

国際言語コミュニケーション専攻	英語コミュニケーション研究	英語コミュニケーション概論A	2	
		英語コミュニケーション概論B	2	
		国際言語文化論（英語分野）A	2	
		国際言語文化論（英語分野）B	2	
		日英比較言語社会学特論A	2	
		日英比較言語社会学特論B	2	
		テキスト言語学特論A	2	
		テキスト言語学特論B	2	
		英語学特論A	2	
		英語学特論B	2	
		応用言語学特論A	2	
	応用言語学特論B	2		
	日中通訳翻訳研究	日中通訳概論A	2	
		日中通訳概論B	2	
		日中翻訳概論A	2	
		日中翻訳概論B	2	
		国際言語文化論（中国語分野）A	2	
		国際言語文化論（中国語分野）B	2	
		日中比較文化論A	2	
日中比較文化論B		2		
日中逐次通訳特論ⅠA		2		
日中逐次通訳特論ⅠB		2		
日中逐次通訳特論ⅡA		2		
日中逐次通訳特論ⅡB		2		
日中同時通訳特論A		2		
日中同時通訳特論B	2			
通訳理論と技法特論（中国語分野）A	2			
通訳理論と技法特論（中国語分野）B	2			
翻訳理論と技法特論（中国語分野）A	2			
翻訳理論と技法特論（中国語分野）B	2			
専攻共通	演習	論文指導Ⅰ	8	
		論文指導Ⅱ－1	2	
		論文指導Ⅱ－2	2	
		論文指導（海外、企業等実習）Ⅲ－1	2	
		論文指導（海外、企業等実習）Ⅲ－2	2	

第3類（杏林大学大学院学則）

（2）博士後期課程

専攻	専門分野	授業科目	単位数	備考
開発問題専攻	政治経済・法制	国際経営論演習Ⅰ	4	
		国際経営論演習Ⅱ	4	
		国際経営論演習Ⅲ	4	
		世界経済論演習Ⅰ	4	
		世界経済論演習Ⅱ	4	
		世界経済論演習Ⅲ	4	
		会計学演習Ⅰ	4	
		会計学演習Ⅱ	4	
		会計学演習Ⅲ	4	
		比較法制論演習Ⅰ	4	
		比較法制論演習Ⅱ	4	
		比較法制論演習Ⅲ	4	
		財産法演習Ⅰ	4	
		財産法演習Ⅱ	4	
		財産法演習Ⅲ	4	
		医事法演習Ⅰ	4	
		医事法演習Ⅱ	4	
		医事法演習Ⅲ	4	
		政治学演習Ⅰ	4	
		政治学演習Ⅱ	4	
		政治学演習Ⅲ	4	
		金融論演習Ⅰ	4	
		金融論演習Ⅱ	4	
		金融論演習Ⅲ	4	
		国際法論	2	
		国際経済論	2	
		国際政治論	2	
	地域研究・開発協力	国際貿易論演習Ⅰ	4	
		国際貿易論演習Ⅱ	4	
		国際貿易論演習Ⅲ	4	
		国際協力論演習Ⅰ	4	
		国際協力論演習Ⅱ	4	
		国際協力論演習Ⅲ	4	
		現代中国政治論演習Ⅰ	4	
現代中国政治論演習Ⅱ		4		
現代中国政治論演習Ⅲ		4		
人類生態学演習Ⅰ		4		
人類生態学演習Ⅱ		4		

第3類（杏林大学大学院学則）

	人類生態学演習Ⅲ	4
	環境保健学演習Ⅰ	4
	環境保健学演習Ⅱ	4
	環境保健学演習Ⅲ	4
	環境問題演習Ⅰ	4
	環境問題演習Ⅱ	4
	環境問題演習Ⅲ	4
	社会福祉学演習Ⅰ	4
	社会福祉学演習Ⅱ	4
	社会福祉学演習Ⅲ	4
	医療経済学演習Ⅰ	4
	医療経済学演習Ⅱ	4
	医療経済学演習Ⅲ	4
	社会言語学演習Ⅰ	4
	社会言語学演習Ⅱ	4
	社会言語学演習Ⅲ	4
	日本語教授法論演習Ⅰ	4
	日本語教授法論演習Ⅱ	4
	日本語教授法論演習Ⅲ	4
	日本語教育論演習Ⅰ	4
	日本語教育論演習Ⅱ	4
	日本語教育論演習Ⅲ	4
	言語文化論演習Ⅰ	4
	言語文化論演習Ⅱ	4
	言語文化論演習Ⅲ	4
	国際言語コミュニケーション（英語分野）演習Ⅰ	4
	国際言語コミュニケーション（英語分野）演習Ⅱ	4
	国際言語コミュニケーション（英語分野）演習Ⅲ	4
	国際言語コミュニケーション（中国語通訳分野）演習Ⅰ	4
	国際言語コミュニケーション（中国語通訳分野）演習Ⅱ	4
	国際言語コミュニケーション（中国語通訳分野）演習Ⅲ	4
	国際言語コミュニケーション（中国語通訳分野）演習Ⅰ	4
	国際言語コミュニケーション（中国語通訳分野）演習Ⅱ	4
	国際言語コミュニケーション（中国語通訳分野）演習Ⅲ	4
	観光保健生態学	2
	地域開発論	2
	国際コミュニケーション論	2
	日本言語文化論	2
	比較文化論	2
	異文化コミュニケーション論	2
	言語文化論	2
	介護政策論	2

第3類（杏林大学大学院学則）

別表 4

授業料その他の学納金

学生区分	学納金等区分	医学研究科	保健学研究科				国際協力研究科	
		博士課程	博士前期課程		博士後期課程		博士前期課程	博士後期課程
			保健学 専攻	看護学 専攻	保健学 専攻	看護学 専攻		
大学院生	入 学 料	250,000円	250,000円	250,000円	※250,000円	※250,000円	250,000円	※250,000円
	授業料(年額)	600,000円	500,000円	800,000円	500,000円	600,000円	450,000円	450,000円
	施設設備費(初年度)	200,000円	200,000円	200,000円	200,000円	200,000円	200,000円	200,000円

※ 本学の保健学研究科又は国際協力研究科の博士前期課程を修了した者が、本学の保健学研究科又は国際協力研究科の博士後期課程に進学する場合には、入学料を徴収しない。